

教育学部

学校教育課程

I. 取得できる教育職員免許状

学校教育課程の卒業要件を満たしたうえで、「教育職員免許法施行規則」に定める指定科目及び「教育実践に関する科目」を修得すると、「教育職員免許状」(以下「免許状」という。)の取得に必要な要件を満たすことができます。

1. 取得できる免許状の種類と教科

本学の呼称	免許状の種類と教科	概要
小免	小学校教諭一種免許状	卒業の要件に加え、所定の科目の単位を修得することによって取得できます。
中高免	中学校教諭一種免許状「所属専修教科」 高等学校教諭一種免許状「所属専修教科」	小免に加えて、所属専修で取得できる免許状です。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

学校教育課程では、教員養成を目的とする学部 성격上、教育職員免許法で定められている「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の必要単位の殆どが卒業要件の中に「必修」となっています。これ以外に、教育実習等の「教育実践に関する科目」の単位を修得すれば免許状取得のための必要単位を満たすことになります。

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の種類	基礎資格	法令における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2
中学校教諭一種免許状		28	27	4
高等学校教諭一種免許状		24	23	12

※ 「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注意1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「特別支援教育に関する科目」は、法令上の領域に分けられています。その領域の条件を満たすように学校教育課程の科目(カリキュラム)が開設されています。

(注意2) 「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注意3) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験 (4.「介護等体験」について 参照)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設 年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体育科目	体育教育演習	②	1	2
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎	2	1	2

3. 教育実習について

教育実習は、4年次において行われる免許状取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、小学校、中学校のいずれかに出向き、定められた期間、実習校の教師と同様に勤務し、観察、参加、実習を通し大学での修得した学問の研究の成果が、教育の現場で問われるものです。

その体験を通して、教師としての認識・自覚・態度を形成することによって教育者精神の把握、教育者としての使命感などを自覚し、後日、教師活動展開のための素地を育成することを意図しており、その意味で、教育実習は最後の総仕上げということになります。

(1) 教育実習の期間

実習科目名	実習期間	実習校種
初等教育実習	20 日間	小学校
中等教育実習 I・II	10 日間	中学校または高等学校※

※「中等教育実習」は、中学校・高等学校どちらでも可。

(2) 教育実習の履修資格について

「初等教育実習」及び「中等教育実習 I 及び II」を履修する者は、「教育学部履修規程」に定められている次の条件を満たしていなければなりません。これらの条件に基づき、教育実習履修資格の最終判定が行われます。

【初等教育実習】

- ① 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ② 修得した単位のうち、卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに合計 70 単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに合計 90 単位以上修得済みであること。
- ③ 履修すべき専門教育科目を指定された場合は、その科目の単位が修得済みであること。
- ④ 原則として、以下の単位修得条件を満たすこと。
 - ㉞ 前年度終了までに、「初等教育実地研究」の単位を修得済みであること。
 - ㉟ 前年度終了までに、『教科概説『〇〇』』（計 10 単位）から 8 単位以上修得済みであること。
 - ㊱ 「〇〇科教育 I」（計 20 単位）から 16 単位以上修得済みであること。
 - ㊲ 「課程基幹科目」のうち「教職基幹科目」の 8 単位と、「教職科目」のうち「必修科目」14 単位の合計 22 単位から 16 単位以上を修得済みであること。
- ⑤ 【共通事項】を満たすこと。

【中等教育実習 I 及び II】

- ① 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ② 修得した単位のうち、卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに合計 70 単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに合計 90 単位以上を修得済みであること。
- ③ 履修すべき専門教育科目を指定された場合は、その科目の単位が修得済みであること。
- ④ 原則として、以下の単位修得条件を満たすこと。
 - ㉞ 前年度終了までに、「中等教育実地研究」の単位を修得済みであること。
 - ㉟ 専修必修科目のうち教科に関する科目（計 12 単位）から 10 単位以上修得済みであること。
 - ㊱ 専修必修科目のうち「教科教育法『〇〇』』（計 8 単位）から 4 単位以上修得済みであること。

- ④ 「課程基幹科目」のうち「教職基幹科目」(計8単位)と「教職科目」のうち「必修科目」(計14単位)の合計22単位から16単位以上を修得済みであること。
- ⑤ 【共通事項】を満たすこと。

【共通事項】

- ① 原則として、以下の条件を満たすこと。
 - ⑦ 介護等体験及び教育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。(ただし、欠席の正当な理由が認められる場合は、代替課題などをもってこれに代えることがある。)
 - ⑧ 教育実習に必要な書類が全て提出されていること。
 - ⑨ 教育実習費を納入すること。
 - ⑩ 実習校・教育委員会等から課せられている条件を全て満たすこと。
- ② 注意事項
 - ⑦ 生活態度、健康状態などを健全に保つことに心掛けましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
 - ⑧ 病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(3) 教育実習校の配当・開拓について

小学校教育実習は、大学が主に埼玉県・千葉県の一部及び東京都内の教育委員会と調整を図り、実習校を決定(配当)します。

中学校(又は高等学校)教育実習は、教育実習を行う実習校を自分で探さなければなりません。出身校もしくは知人等から紹介を受けた学校を訪問し、教育実習の受け入れを依頼することになります。

※ 教育実習に関する詳細は、2年次の3月に行われる「教育実習開拓オリエンテーション」で説明します。

4. 「介護等体験」について

「介護等体験」とは、特別支援学校と生活訓練施設・老人ホーム等の社会福祉施設で障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を行うことです。

概要は以下のとおりです。説明会や事前指導は必ず出席してください。欠席は認めません。さらに、ここには記載されていませんが、特別支援学校や社会福祉施設において行われるオリエンテーションがあります。体験の一環ですので必ず出席しなければなりません。申請説明会やオリエンテーションの日程等の連絡は、全て掲示や教務課ホームページでお知らせします。見落とさないよう注意してください。

なお、学生個人が、特別支援学校や社会福祉施設に直接体験の申し込みをすることは認められていません。大学が取りまとめて、教育委員会や社会福祉協議会へ申請をします。

学年	時期	「介護等体験」期間(体験日数)	
		特別支援学校(2日間)	社会福祉施設(5日間)
1年次	10～12月	説明会及び申請書提出 費用の納入(別掲載)	
2年次	4月	体験校の発表	
	5月～随時	本学教員による事前指導 体験実施及び体験証明書の授受	
	10～12月		説明会及び申請書提出
3年次	4月～随時		体験施設の発表(掲示) 本学教員による事前指導
	6月～随時		体験期間ごとの事前指導、資料配布 体験実施及び体験証明書の授受

5. 教職実践演習について

「教職実践演習」とは、教員免許状取得のための必修科目です。特別な仕組みにより履修する科目ですので、以下の注意事項をよく確認し履修してください。

● 「教職実践演習(小・中・高)」(4年次開設)について

「教職実践演習(小・中・高)」とは教員免許状取得のための必修科目です。4年次において、教員免許状取得に向けて、大学での学習や経験を振り返り、教師として必要とされる資質を身に付けているか最終的に確認する目的で開設されます。

(1) 「教職実践演習(小・中・高)」の授業日程

週に1回、決まった曜日・時間に行われる通常の授業とは異なり、あらかじめ定められた日程に沿って授業を受講します。また、授業時間外に課される課題等を通しての学習も含まれます。

具体的な授業日程等については、4年次の4月以降に公表します。関係するオリエンテーションが開催されることもありますので、必ず出席してください。

(2) 「教職実践演習(小・中・高)」の履修資格

教員免許状取得にあたり、大学で学んだ内容の総まとめの位置付けとなりますので、4年次に「教職実践演習(小・中・高)」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。

- ① 当該年度に卒業の見込みがなければなりません。
- ② 入学時以降、指定された「教職実践演習(小・中・高)」に関連したオリエンテーションに継続的に参加していなければなりません。
- ③ 入学時以降、指定された「学びのポートフォリオ」を全て記入・作成し、これに関して継続的な指導を受けていなければなりません。
- ④ 当該年度において「教育実習」を履修(又は前年度までに単位修得)していなければなりません。

II. 希望することによって取得できる教育職員免許状(他専修免)

学校教育課程では、自専修で取得できる小免、中高免のほかに、他専修科目の必要な単位を修得することによって取得することができる免許状があります。その免許状を「他専修免」と呼んでいます。所属専修によって履修条件(修得すべき単位数)が異なりますので注意してください。

なお、「他専修免」については、2年次から4年次の3年間に自分の所属する専修の卒業に必要な科目の時間割を組んだ後、空いた時間で取得に必要な指定科目を履修していくため、在学中に免許状取得に必要な科目の全てを履修することができない場合があります。したがって、他専修免履修に際し、二種免許状取得に必要な科目を優先して履修するようにしてください。

1. 取得できる免許状と履修条件

(1) 取得できる免許状の種類と教科

本学の呼称	免許状の種類・教科
他専修免	中学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 高等学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 特別支援学校教諭一種免許状 ※ 発達教育課程特別支援教育専修で履修しますが、教育実習に行くことができないため、卒業と同時に免許状を取得することはできません。

(2) 取得できる免許状の履修パターン

履修の方法としては、以下のパターンのいずれか1つを選択します。

	履修パターン	他専修免
1	小学校教諭一種免許状	
2	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	
3	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	中学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 高等学校一種免許状「所属専修以外の1教科」
4	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	(特別支援学校教諭一種免許状)(注)

(注) 他専修免で特別支援学校一種免許状を履修する場合、「障害児教育実習」の履修ができません。詳細については、1年次春～夏頃に行われる「他専修免許説明会」で説明します。

(3) 履修上の注意

- ① 履修パターンは、1年次の秋学期に登録し、登録したパターンで履修しなければなりません。
- ② 中高免の履修は、2年次の履修登録前までに新たな履修希望の申し出があれば認めることがあります。
- ③ 他専修免の履修については、指定された届出日までに申請のうえ、選考により履修が認められます。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

小免、中高免については、「I. 取得できる教育職員免許状」で述べたとおりです。ここでは、特別支援学校教諭の免許状についてのみ記載します。

	基礎資格	法令における最低修得単位数
		特別支援教育に関する科目
特別支援学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。	26
特別支援学校教諭二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。	16

(2) 履修上の注意(卒業要件との関係)について

- ① 他専修免の「国語」「社会・地歴」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「家庭」「英語」「特別支援学校」を取得するために修得した単位のうち、「教科及び教科の指導法に関する科目」「特別支援教育に関する科目」は、卒業の要件に含めることはできません。
- ② 他専修免を取得するために他専修・他課程・他学部で開かれている科目を聴講し修得した単位は、卒業の要件に含めることができません。

Ⅲ. 教職課程履修説明会及び登録手続について

1. 教職課程履修説明会

教育学部で、教職課程の履修を希望する者は、1年次秋に開かれる免許状取得のための説明会に必ず出席し、取得する免許状のパターン登録の手続をする必要があります(登録制)。

この登録を怠ると、各種免許状に関わる証明書の発行は受けられませんし、他専修免については、在学中に免許状を取得するために必要な科目を履修することはできません。

また、2年次以降になって新たな免許状取得のための履修を希望しても認められない場合があります。

2. 登録手続

説明会において登録手続き方法をお知らせします。

所定の方法で、定められた日までに手続きを行ってください。

3. 教職課程の履修を中途放棄又は変更する場合

途中で教職課程の履修を断念又は変更する場合は、教務課にて「教職課程履修変更願」を受け取り、必要事項を記入したうえ、教務課に提出してください。この際に、所属専修教務委員の面談を行う場合があります。

なお、他専修免登録者で4年生の履修登録後、規定単位数を修得できない場合は、必ず変更願を提出してください。変更願が提出されていない場合は、教育職員免許状取得見込証明書などの発行が受けられない場合があります。

Ⅳ. 免許状の取得に必要な費用について

教職課程を履修する場合の、免許状取得に必要な科目の課程履修費及び納入時期は、次のとおりです。納入方法等は説明会にて指示します。

免許種類	課程履修費	介護等体験費用 ※1	教育実習費 ※2	納入時期
小免	-	15,000円	30,000円 ※3	※1:1年次の秋 ※2:実習を行う年度の 11月~12月頃
中高免	-	-	20,000円 ※3	
他専修免	20,000円	-	-	1年次の12月頃

※3 実習を行う学校によって教育実習費は異なります。上記金額は最大金額です。

Ⅴ. 学校図書館司書教諭課程

学校教育課程の小免登録者は、所定の手続を経て必要単位を修得した場合に、学校図書館司書教諭資格を得ることができます。詳細は、「学校図書館司書教諭課程について」をご確認ください。

VI. 学校教育課程履修モデル

1. 履修モデルの趣旨

学校教育課程においては、教員養成を目的とする課程の性質上、小学校教諭一種免許状と所属専修教科の中高一種免許状を取得するために必要な単位の殆どが卒業要件の中に「必修」となっています。

ただし、専門教育科目のうち「専修選択必修科目」と「教職科目」については、卒業必要単位<36 単位>から「初等教科教育法」<2 単位>、「中等教育科目」<8 単位>及び「教職科目」の必修科目<14 単位>を除き、残りの<12 単位>分を、学生が比較的自由に科目を選択して履修できるようにしています。個々の学生が志望する校種や重点的に学びたい領域などに応じて自ら科目を選択して学びを深めることが、教員としての得意分野の形成に資すると考えられるからです。

もちろん、年間履修単位制限の範囲内であれば、この<12 単位>を超えて履修することは可能です。しかし、その場合でも、個々人が自らの志望校種や得意分野としたい領域に応じて、一定の目的意識を持って科目を選択することが重要であることは言うまでもありません。そこで、学校教育課程では、志望校種と重点を置く分野により、大きく3つのパターンを想定し、卒業必要単位の枠内でどのような科目の選択が可能かを「履修モデル」として提示しています。このモデルを参考に、各自、目的意識を持って科目を選択するようにしてください。

2. 履修モデル

履修モデル	履修内容
小学校教科教育重点型履修モデル	専修選択必修科目「教科教育Ⅱ」の科目群から指定の単位に加えて4単位以上、教職選択必修科目「B群 学校と社会」「C群 授業実践」科目群から合わせて4単位以上を含み、その他と合わせて12単位以上。
小学校教育学重点型履修モデル	教職選択必修科目「A群 教育の基礎理論」科目群から4単位以上、教職選択必修科目「B群 学校と社会」科目群から4単位以上を含み、その他と合わせて12単位以上。
中学校・高等学校専門教科重点型履修モデル	専修選択必修科目「中等教育科目」から指定の単位に加えて10単位以上、教職選択必修科目「B群 学校と社会」科目群から2単位以上、合わせて12単位以上。

3. 履修モデルの説明

(1)「小学校教科教育重点型履修モデル」について

小学校の教科指導に重点を置いた履修モデルです。卒業要件上、専修選択必修科目「教科教育Ⅱ」の科目群から自専修教科の「〇〇科教育Ⅱ」2単位を履修することが指定されていますが、加えて、他教科の「〇〇科教育Ⅱ」を4単位選択履修します。これにより、小学校の複数の教科指導力に磨きをかけることができます。さらに、教職選択必修科目「B群 学校と社会」「C群 授業実践」科目群から4単位以上、その他2単位と合わせて12単位以上を履修します。

(2)「小学校教育学重点型履修モデル」について

小学校の教科指導以外の教育活動に重点を置いた履修モデルです。教職選択必修科目「A群 教育の基礎理論」科目群から4単位以上を選択履修します。これにより、教育の歴史や哲学、社会学などを重点的に学び、一般的な教育学的素養を深めることができます。また、教職選択必修科目「B群 学校と社

会」科目群から 4 単位以上を選択履修します。これにより、学級経営や生徒指導、特別支援教育など、教科指導の基盤となる集団づくりの力や児童生徒を指導・支援する力を培うことができます。その他と合わせて 12 単位以上を履修します。

(3)「中学校・高等学校専門教科重点型履修モデル」について

中高教員に求められる専門教科の指導力の充実を目指す履修モデルです。卒業要件上、専修選択必修科目「中等教育科目」から 8 単位を履修することが指定されていますが、加えて 10 単位以上、合計 18 単位以上を選択履修します。これにより、中高の教科指導に不可欠な教科内容の専門知識や技能を身に付けることができます。さらに、教職選択必修科目「B 郡 学校と社会」から 2 単位以上、合わせて 12 単位以上を履修します。

VII. 免許状取得に必要な科目と単位数

教育学部 学校教育課程

小学校教諭一種免許状

小学校教諭免許状取得に必要な科目は、各専修のカリキュラム表に全て含まれます。

このページ及び次ページの表は、各科目が法令にどのように規定されているか確認するためのものです。

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	必修	1	1	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が61単位以上
			社会	必修	1	1		
			算数	必修	1	1		
			理科	必修	1	1		
			生活	必修	1	1		
			音楽	必修	1	1		
			図画工作	必修	1	1		
			家庭	必修	1	1		
			体育	必修	1	1		
			外国語	必修	1	1		
	各教科の活用を含む。(情報通信技術)	30	国語(書写を含む。)	必修	2	2	20単位以上	
			社会	必修	2	2		
			算数	必修	2	2		
			理科	必修	2	2		
			生活	必修	2	2		
			音楽	必修	2	2		
			図画工作	必修	2	2		
			家庭	必修	2	2		
			体育	必修	2	2		
			外国語	必修	2	2		
各教科の活用を含む。(情報通信技術)	30	国語(書写を含む。)	選必	2	3	20単位以上		
		社会	選必	2	3			
		算数	選必	2	3			
		理科	選必	2	3			
		生活	選必	2	3			
		音楽	選必	2	3			
		図画工作	選必	2	3			
		家庭	選必	2	3			
		体育	選必	2	3			
		外国語	選必	2	3			

学校教育課程 小学校教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理 教育の歴史 教育哲学 教育学特講	必修 選必 選必 選必	2 2 2 2	1 2 2 3	2単位以上	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	必修	2	1	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	選必 選必 選必 必修 選必 選必 選必	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 3 3 2 3	2単位以上	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	必修 選必 選必 選必	2 2 2 2	1 2 3 3	2単位以上	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	必修 選必	1 2	3 3	1単位以上	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	必修	1	1	1単位	
			第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育の理論と方法 道徳教育実践論	必修 選必	
総合的な学習の時間の指導法	必修	1				3	1単位	
特別活動 特別活動実践論	必修 選択	2 2				3 3	2単位以上	
教育の方法及び技術	必修 選必 選必 選必	1 2 2 2				1 2 3 3	1単位以上	
情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法	必修	2				1	2単位	
生徒指導の理論及び方法	必修 選必	2 2				2 3	4単位以上	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	必修	2				3		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 (「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)	選必	2				3		
第五欄	教育実践に用いる科目	5	初等教育実地研究 初等教育実習	選択 選択	1 4	3 4	5単位	
			教職実践演習	選択	2	4	2単位	
第六欄	大学が独自に設定する科目	2	教育フィールド研究Ⅰ 教育フィールド研究Ⅱ	選必 選必	1 1	2 3		
			【合計】			29		

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄 教科に関する専門的 事項 教科及び教科の指導法に 関する科目	国語学(音声言語及び文 章表現に関するものを含 む。)		20	20	日本語学概論	必修	2	1	必修科目以外 に○印の科目 を含んで8単位 以上、かつ、 「教科及び教科 の指導法に関 する科目」と「教 育の基礎的理 解に関する科目 等」(右のペー ジ)の合計が61 単位以上	「書道」の領域 を除き、必修科 目以外に○印 の科目を含んで 10単位以上、か つ、「教科及び 教科の指導法 に関する科目」 と「教育の基礎 的理解に関する 科目等」(右の ページ)の合計 が61単位以上
					日本語学演習Ⅰ	必修	2	2		
					日本語学演習Ⅱ	選必	2	3		
					日本語学講義Ⅰ	選必	2	3		
					日本語学講義Ⅱ	選必	2	4		
	国文学(国文学史を含 む。)		20	20	日本文学概論	必修	2	1		
					日本文学演習Ⅰ	必修	2	2		
					○ 日本文学史Ⅰ	選必	2	2		
					○ 日本文学演習Ⅱ	選必	2	3		
					○ 日本文学史Ⅱ	選必	2	3		
漢文学		20	20	日本文学講読Ⅰ	選必	2	3			
				日本文学講読Ⅱ	選必	2	3			
				日本文学演習Ⅲ	選必	2	4			
				日本文学演習Ⅳ	選必	2	4			
漢文学		20	20	漢文学概論	必修	2	1			
				漢文学講読	選必	2	2			
				漢文学演習Ⅰ	選必	2	3			
				漢文学演習Ⅱ	選必	2	4			
書道(書写を 中心とす る。)		20	20	書写Ⅰ	必修	1	1			
				書写Ⅱ	必修	1	2			
				書写・書道研究	選必	2	3			
各教科の指導法(情報通信技 術の活用を含む。)		8	4	教科教育法「国語」Ⅰ	必修	2	2			
				教科教育法「国語」Ⅱ	必修	2	3			
				教科教育法「国語」Ⅲ	必修	2	4			
				教科教育法「国語」Ⅳ	必修	2	4			
【合計】			28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育社会学	選必	2	2	2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必		2	2					
教育制度(比較教育を含む)	選必		2	2					
教育行財政(教育法規を含む)	必修		2	3					
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	国際理解教育の研究	選必	2	3	2単位以上				
	教育心理学	必修	2	1					
	子どもの心理と教育	選必	2	2					
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教授・学習過程論	選必	2	3					
	教育心理学特講	選必	2	3					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上
					特別支援教育の研究	選必	2	3	
		教育課程論			必修	1	1	1単位	
		道徳教育の理論と方法			必修	2	2	2単位以上	
		道徳教育実践論			選必	2	3		
		総合的な学習(探究)の時間の指導法			必修	1	3	1単位	
		特別活動			必修	2	3	2単位以上	
		特別活動実践論			選必	2	3		
		教育の方法及び技術			必修	1	1	1単位以上	
		情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法			教育工学	選必	2		2
教育メディア論	選必		2	3					
教育評価	選必		2	3					
生徒指導の理論及び方法	必修	2	1	2単位					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	必修	2	3						
(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位
					中等教育実習Ⅰ	選択	2	4	
					中等教育実習Ⅱ	自由	2	4	
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目		4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2	
					教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3	
【合計】			31	35					
【「第六欄」を除く合計】			27	23					

29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわらず、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法	
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校
第二編 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史	20	日本史概説	必修	2	1	「法学、政治学」「社会学、経済学」「哲学、倫理学、宗教学」の領域を除き、必修科目以外に○印の科目を含んで14単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
					日本経済史	選必	2	1	
					日本文化史	選必	2	2	
					日本政治史	選必	2	2	
					日本史演習	選必	2	3	
					日本史特別演習	選必	2	3	
		外国史	世界史概説	必修	2	1			
			国際関係史	選必	2	1			
			ヨーロッパ社会史	選必	2	2			
			東アジア史	選必	2	3			
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学	20	地理学概説	必修	2	1		
				人文地理学	選必	2	2		
	地誌	自然地理学	選必	2	3				
地理学演習		選必	2	3					
「法学、政治学」	地誌	8	地理学特別演習	選必	2	3			
			○地誌学	選必	2	1			
「社会学、経済学」	地誌	4	法学概説	選必	2	3			
			政治学概説	必修	2	2			
「哲学、倫理学、宗教学」	地誌	4	社会学概説	選必	2	3			
			経済学概説	必修	2	2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	地誌	4	哲学概説	選必	2	3			
			倫理学概説	必修	2	1			
			宗教学概説	選必	2	3			
			教科教育法「社会・地歴」I	必修	2	2			
【合計】	28	24	教科教育法「社会・地歴」II	必修	2	2			
			教科教育法「社会・地歴」III	必修	2	3			
			教科教育法「社会・地歴」IV	必修	2	3			
			※高校免許ではカウントしない。						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	29 単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上
				教育の歴史	選必	2	2		
				教育哲学	選必	2	2		
				教育学特講	選必	2	3		
				教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	必修	2	1	2単位	
				教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	選必	2	2	2単位以上	
教育社会学	選必	2	2						
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3	2単位以上					
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2						
国際理解教育の研究	選必	2	3	2単位以上					
教育心理学	必修	2	1						
子どもの心理と教育	選必	2	2						
教授・学習過程論	選必	2	3						
教育心理学特講	選必	2	3	1単位以上					
特別支援教育入門	必修	1	3						
特別支援教育の研究	選必	2	3	1単位					
教育課程論	必修	1	1						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	61 単位以上
				道徳教育実践論	選必	2	3		
				総合的な学習(探究)の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動	必修	2	3	2単位以上	
				特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術	必修	1	1	1単位以上	
				教育工学	選必	2	2		
				教育メディア論	選必	2	3		
教育評価	選必	2	3						
教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位					
生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談の理論と方法	必修	2	3						
(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
		【合計】	31	35					
		【「第六欄」を除く合計】	27	23					

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「数学」・高等学校教諭一種免許状「数学」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	20	20	線形代数学Ⅰ	必修	2	1	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
					線形代数学Ⅱ	選必	2	1		
					代数学概論	必修	2	2		
					群論	選必	2	3		
					代数学演習	選必	2	3		
					ガロア理論	選必	2	3		
		幾何学	20	20	幾何学概論	必修	2	1		
					変換幾何	選必	2	2		
					初等幾何	選必	2	3		
					幾何学演習	選必	2	3		
解析学	20	20	微分積分学Ⅰ	選必	2	1				
			微分積分学Ⅱ	選必	2	1				
			解析学概論	必修	2	2				
			複素解析	選必	2	3				
			解析学演習	選必	2	3				
			微分方程式	選必	2	3				
「確率論、統計学」	20	20	確率統計	必修	2	2				
			確率統計特論	選必	2	3				
コンピュータ	20	20	コンピュータ	必修	2	2				
			計算科学	選必	2	3				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	教科教育法「数学」Ⅰ	必修	2	1				
			教科教育法「数学」Ⅱ	必修	2	2				
			教科教育法「数学」Ⅲ	必修	2	3				
			教科教育法「数学」Ⅳ	必修	2	3				
【合計】			28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「数学」・高等学校教諭一種免許状「数学」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
					教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
					教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学級経営	選必	2	2	2単位以上				
	国際理解教育の研究	選必	2	3					
	教育心理学	必修	2	1		2単位以上			
	子どもの心理と教育	選必	2	2					
教授・学習過程論	選必	2	3						
教育心理学特講	選必	2	3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
	特別支援教育の研究	選必	2	3					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上
		道徳教育実践論			選必	2	3		
		総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位
		特別活動の指導法			特別活動	必修	2	3	2単位以上
		特別活動実践論			選必	2	3		
		教育の方法及び技術			教育方法論	必修	1	1	1単位以上
					教育工学	選必	2	2	
					教育メディア論	選必	2	3	
					教育評価	選必	2	3	
		情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法			教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
	教育相談の理論と方法	必修	2	3					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)								
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
【合計】		31	35						
【「第六欄」を除く合計】		27	23						

29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「理科」・高等学校教諭一種免許状「理科」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法			
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校		
第二欄	教科に関する専門的事項	教科及び教科の指導法に関する科目	20	20	物理学概論	必修	2	1	必修科目以外に○印の科目の単位を全て含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を全て含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
					物理学	物理学 I	選必	2			2
						物理学 II	選必	2			3
					化学	化学概論	必修	2			1
						化学 I	選必	2			2
						化学 II	選必	2			2
						化学 III	選必	2			3
					生物学	生物学概論	必修	2			1
						生物学 I	選必	2			2
					地学	地学概論	必修	2			2
						地学 I	選必	2			1
						地学 II	選必	2			1
						地学 III	選必	2			2
	物理学実験基礎	必修	1	2							
	○ 物理学実験A	選必	1	2							
	物理学実験B	選必	1	2							
	化学実験基礎	必修	1	3							
	○ 化学実験A	選必	1	3							
	化学実験B	選必	1	3							
	生物学実験基礎	必修	1	2							
	○ 生物学実験A	選必	1	2							
	生物学実験B	選必	1	2							
	地学実験基礎	必修	1	3							
	○ 地学実験A	選必	1	3							
	地学実験B	選必	1	3							
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	8	教科教育法「理科」I	必修	2	1				
				教科教育法「理科」II	必修	2	1				
				教科教育法「理科」III	必修	2	3				
				教科教育法「理科」IV	必修	2	3				
				【合計】		28	28				

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「理科」・高等学校教諭一種免許状「理科」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件		
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2		
					教育哲学	選必	2	2		
					教育学特講	選必	2	3		
					教職概論	必修	2	1	2単位	
					教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	教育社会学	選必	2	2	2単位以上
						学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2	
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2							
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3							
教育社会学特講	選必	2	3							
幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	学級経営	選必	2	2	2単位以上					
	国際理解教育の研究	選必	2	3						
	教育心理学	必修	2	1						
	子どもの心理と教育	選必	2	2						
特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	教授・学習過程論	選必	2	3	2単位以上					
	教育心理学特講	選必	2	3						
	特別支援教育入門	必修	1	3		1単位以上				
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含 む。)	特別支援教育の研究	選必	2	3	1単位					
	教育課程論	必修	1	1						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談等 に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	
		道徳教育実践論			選必	2	3			
		総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
		特別活動の指導法			特別活動	必修	2	3	2単位以上	
					特別活動実践論	選必	2	3		
		教育の方法及び技術			教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
					教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
					教育評価	選必	2	3		
		情報通信技術を活用した教育 に関する理論及び方法			教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位	
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
	教育相談の理論と方法	必修	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
					中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
					中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位			
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
		【合計】	31	35						
		【「第六欄」を除く合計】	27	23						

29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、

「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「音楽」・高等学校教諭一種免許状「音楽」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	ソルフェージュ I ソルフェージュ II	必修	1	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
							選必	2		
							必修	1		
							選必	1		
							選必	1		
							必修	2		
							選必	2		
							選必	2		
							選必	2		
							選必	3		
選必	3									
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	声楽 I (日本の伝統的な歌唱を含む) ○ 声楽 II ○ 和楽器演習(三味線) 合唱 I ○ 声楽 III ○ 合唱 II ○ 声楽 IV 声楽 V 声楽 VI	必修	1	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
						選必	1			
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	ピアノ I アンサンブルスタディ I ○ ピアノ II アンサンブルスタディ II ○ 和楽器演習(箏曲) ○ ピアノ III ○ ピアノ IV (伴奏法を含む) アンサンブルスタディ III アンサンブルスタディ IV ピアノ V ピアノ VI	必修	1	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
						必修	2			
						選必	1			
						選必	2			
						選必	1			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	3			
						選必	3			
						選必	3			
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	指揮法	必修	3	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
						必修	2			
						必修	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	音楽理論 作曲 I (編曲法を含む) ○ 西洋音楽史 音楽史総合(日本の伝統・諸民族音楽を含む) ○ 作曲 II	必修	2	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
						必修	1			
						選必	2			
						必修	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
						選必	2			
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	必修	2	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み12単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	
						必修	2			
						必修	2			
						必修	2			
						必修	2			
【合計】			28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「音楽」・高等学校教諭一種免許状「音楽」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修得すべき 単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上
					教育の歴史	選必	2	2		
					教育哲学	選必	2	2		
					教育学特講	選必	2	3		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	教職概論	必修	2	1	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学	選必	2	2	2単位以上	
					学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2		
教育制度(比較教育を含む)	選必		2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修		2	3						
教育社会学特講	選必		2	3						
学級経営	選必	2	2							
国際理解教育の研究	選必	2	3							
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	10	10	教育心理学	必修	2	1	2単位以上			
			子どもの心理と教育	選必	2	2				
教授・学習過程論	選必	2	3							
教育心理学特講	選必	2	3							
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	10	10	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上			
			特別支援教育の研究	選必	2	3				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育課程論	必修	1	1	1単位			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習(探究)の時間の指導法	必修	1	3	1単位		
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
					特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
					教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
教育評価	選必	2	3							
情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法	必修	2	1	2単位						
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	必修	2	3							
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
				(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)						
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位			
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
		【合計】	31	35						
		【「第六欄」を除く合計】	27	23						

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「美術」・高等学校教諭一種免許状「美術」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項	教科及び教科の指導法に関する科目	20	20	絵画Ⅰ	必修	1	1	必修科目以外に○印の科目の単位を含み8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	「工芸」の領域を除き、必修科目以外に○印の科目の単位を含み10単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
					素描	選必	1	1		
					絵画Ⅱ	必修	1	2		
					○ 油彩画	選必	1	2		
					○ 日本画	選必	1	3		
					版画	選必	1	3		
					絵画表現	選必	1	4		
					総合造形	選必	2	4		
					彫刻Ⅰ	必修	1	1		
					塑造	選必	1	1		
彫刻Ⅱ	必修	1	2							
彫造	選必	1	2							
鑄造	選必	1	3							
環境造形	選必	1	3							
デザインⅠ	必修	1	1							
デジタル表現	選必	1	1							
造形材料と加工	選必	1	1							
イラストレーション	選必	1	2							
デザインⅡ	必修	1	2							
ペーパーエンジニアリング	選必	1	2							
メディアデザイン	選必	1	3							
クラフトデザイン	選必	1	3							
工芸Ⅰ	必修	1	1							
陶芸	選必	1	2							
工芸Ⅱ	必修	1	2							
工芸表現	選必	1	3							
美術理論	必修	2	1							
美術文化論	選必	2	3							
色彩学	選必	2	1							
美術文化特別実習	選必	1	3							
美術史	必修	2	2							
美術史演習	選必	2	3							
教科教育法「美術」Ⅰ	必修	2	1							
教科教育法「美術」Ⅱ	必修	2	2							
教科教育法「美術」Ⅲ	必修	2	3							
教科教育法「美術」Ⅳ	必修	2	3							
【合計】		28	24							

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「美術」・高等学校教諭一種免許状「美術」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2		
				教育哲学	選必	2	2		
				教育学特講	選必	2	3		
				教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1	2単位
				教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2	2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2	2単位以上					
国際理解教育の研究	選必	2	3						
教育心理学	必修	2	1						
子どもの心理と教育	選必	2	2						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教授・学習過程論	選必	2	3	2単位以上				
教育心理学特講	選必	2	3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
特別支援教育の研究	選必	2	3						
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	
				道徳教育実践論	選必	2	3		
				総合的な学習(探究)の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上
				特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術	教育方法論	必修	1	1	1単位以上
				教育工学	選必	2	2		
				教育メディア論	選必	2	3		
				教育評価	選必	2	3		
情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法	教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位				
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3					
(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
【合計】		31	35						
【「第六欄」を除く合計】		27	23						

29 単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61 単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかわかりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「保健体育」・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	20	20	器械運動	必修	1	2	必修科目以外に○印の科目全てと△印の科目から2単位以上を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目全てと△印の科目から2単位以上を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
					○ 陸上競技	選必	1	1		
					水泳	必修	1	2		
					○ 表現運動・ダンスA	選必	1	1		
					○ 武道	選必	1	3		
					球技A	選必	1	1		
					球技B	選必	1	1		
					球技C	選必	1	2		
					冬季スポーツ	選必	1	2		
					表現運動・ダンスB	選必	1	3		
					球技D	選必	1	3		
					○ 球技	選必	1	3		
					野外活動	選必	1	3		
					○ 体づくり運動	選必	1	3		
						体育原理	必修	2		
				体育運動学	必修	2	1			
				△ 体育心理学	選必	2	2			
				△ 体育史	選必	2	3			
				△ 体育社会学	選必	2	3			
				△ 体育学研究法	選必	2	3			
				△ 体育経営管理学	選必	2	3			
				運動生理学	必修	2	2			
				△ 運動生理学演習	選必	2	3			
				衛生学・公衆衛生学	必修	2	1			
				学校保健	必修	2	2			
				△ ヘルスプロモーション	選必	2	3			
				教科教育法「保健体育」I	必修	2	1			
				教科教育法「保健体育」II	必修	2	2			
				教科教育法「保健体育」III	必修	2	3			
				教科教育法「保健体育」IV	必修	2	4			
				生理学(運動生理学を含む。)						
				「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)						
				衛生学・公衆衛生学						
				学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)						
				各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)						
				8						
				4						
				【合計】						
				28						
				24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「保健体育」・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	
		中 学	高 校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
					教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
					教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
					教育社会学	選必	2	2	2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2						
国際理解教育の研究	選必	2	3	2単位以上					
教育心理学	必修	2	1						
子どもの心理と教育	選必	2	2						
教授・学習過程論	選必	2	3						
教育心理学特講	選必	2	3	1単位以上					
特別支援教育入門	必修	1	3						
特別支援教育の研究	選必	2	3	1単位					
教育課程論	必修	1	1						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習(探究)の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上
					道徳教育実践論	選必	2	3	
					総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位
					特別活動	必修	2	3	2単位以上
					特別活動実践論	選必	2	3	
					教育方法論	必修	1	1	1単位以上
					教育工学	選必	2	2	
					教育メディア論	選必	2	3	
					教育評価	選必	2	3	
教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位					
生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談の理論と方法	必修	2	3						
(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位
					中等教育実習Ⅰ	選択	2	4	
					中等教育実習Ⅱ	自由	2	4	
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
【合計】			31	35					
【「第六欄」を除く合計】			27	23					

29 単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61 単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかわかりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「家庭」・高等学校教諭一種免許状「家庭」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	免許要件履修方法			
	中学校	高等学校	単 位 中学 高校					中学校	高等学校		
第二欄	教科に関する専門的事項	教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	20	20	家庭経営学	必修	2	1	必修科目以外に○印の科目を含み8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目を含み8単位以上、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
						○ 家庭経済学	選必	2	2		
						家族関係学	選必	2	3		
						生活福祉論	選必	2	3		
						被服学	必修	2	1		
						基礎被服学実習	必修	2	2		
						生活環境論	選必	2	3		
						被服学実験	選必	1	3		
						衣生活論	選必	2	4		
						応用被服学実習	選必	2	3		
食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	20	20	食物学	必修	2	1					
			食品学	選必	2	1					
			食生活論	選必	2	4					
			基礎調理実習	必修	2	2					
			○ 栄養学	選必	2	3					
			応用調理実習	選必	2	3					
住居学	8	4	住居学(住居設計・製図を含む)	必修	2	1					
			○ 保育学	選必	2	3					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	教科教育法「家庭」I	必修	2	1					
			教科教育法「家庭」II	必修	2	2					
			教科教育法「家庭」III	必修	2	3					
			教科教育法「家庭」IV	必修	2	4					
【合計】			28	24							

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「家庭」・高等学校教諭一種免許状「家庭」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件			
		中学	高校								
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上		
					教育の歴史	選必	2	2			
					教育哲学	選必	2	2			
					教育学特講	選必	2	3			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	教職概論	必修	2	1	2単位		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学	選必	2	2	2単位以上		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2							
	教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2							
	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3							
	教育社会学特講	選必	2	3							
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	10	10	学級経営	選必	2	2	2単位以上				
			国際理解教育の研究	選必	2	3					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育心理学	必修	2	1	2単位以上				
			子どもの心理と教育	選必	2	2					
教授・学習過程論	選必	2	3								
教育心理学特講	選必	2	3								
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上			
				特別支援教育の研究	選必	2	3				
				教育課程論	必修	1	1	1単位			
				道徳の理論及び指導法	必修	2	2	2単位以上			
				道徳教育実践論	選必	2	3				
				総合的な学習(探究)の時間の指導法	必修	1	3	1単位			
				特別活動	必修	2	3	2単位以上			
				特別活動実践論	選必	2	3				
				教育の方法及び技術	10	8	教育方法論	必修	1	1	1単位以上
				教育工学			選必	2	2		
教育メディア論	選必	2	3								
教育評価	選必	2	3								
教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位							
生徒指導の理論及び方法	10	8	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
生徒指導の研究(進路指導を含む)			選必	2	3						
教育相談の理論と方法			必修	2	3						
(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)											
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位			
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4				
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4				
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位				
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2				
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3				
		【合計】	31	35							
		【「第六欄」を除く合計】	27	23							

29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学		20	20	英語学概論	必修	2	2	必修科目以外に○印の科目を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上	必修科目以外に○印の科目を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が61単位以上
					英語学演習 I	選必	2	3		
					英語学演習 II	選必	2	3		
	英語文学		20	20	英語文学概論	必修	2	2		
					英語文学演習 I	選必	2	3		
					英語文学演習 II	選必	2	3		
	英語コミュニケーション		20	20	Academic English I	必修	2	1		
					Academic English II	必修	2	2		
					Academic English III	選必	2	3		
					Academic English IV	選必	2	4		
○ Grammar and Vocabulary					選必	2	1			
○ Academic Writing					選必	2	2			
English for Specific Purposes A					選必	2	2			
English for Specific Purposes B	選必	2	3							
異文化理解		8	4	○ Academic Reading A	選必	2	1			
				Academic Reading B	選必	2	1			
				英語発音演習	必修	2	1			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	4	異文化理解概論	必修	2	1			
				英米文化演習A	選必	2	1			
				英米文化演習B	選必	2	2			
				教科教育法「英語」I	必修	2	2			
【合計】		28	24	教科教育法「英語」II	必修	2	2			
				教科教育法「英語」III	必修	2	3			
				教科教育法「英語」IV	必修	2	3			

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数		
		中学	高校								
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が61単位以上	
					教育の歴史	選必	2	2			
					教育哲学	選必	2	2			
					教育学特講	選必	2	3			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	教職概論	必修	2	1	2単位		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学	選必	2	2	2単位以上		
教育社会学	選必	2	2								
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2								
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2								
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3								
教育社会学特講	選必	2	3								
学級経営	選必	2	2								
国際理解教育の研究	選必	2	3								
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	10	10	教育心理学	必修	2	1	2単位以上				
子どもの心理と教育			選必	2	2						
教授・学習過程論			選必	2	3						
教育心理学特講	選必	2	3								
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	10	10	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
特別支援教育の研究			選必	2	3						
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上			
				道徳教育実践論	選必	2	3				
				総合的な学習(探究)の時間の指導法	必修	1	3	1単位			
				特別活動	必修	2	3	2単位以上			
				特別活動実践論	選必	2	3				
				教育の方法及び技術	10	8	教育方法論	必修	1	1	1単位以上
				教育工学			選必	2	2		
				教育メディア論			選必	2	3		
				教育評価			選必	2	3		
情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法	必修	2	1	2単位							
生徒指導の理論及び方法	10	8	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
生徒指導の研究(進路指導を含む)			選必	2	3						
教育相談の理論と方法			必修	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法											
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)							
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位			
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4				
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4				
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位				
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2				
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3				
		【合計】	31	35							
		【「第六欄」を除く合計】	27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「学校教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第二欄	中学校	高等学校	単位 中学 高校					
教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		20	○ 日本語学概論	2	1	○印の科目を全て含み 20単位以上	30単位以上、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が61単位以上
				○ 日本語学演習Ⅰ	2	2		
				○ 日本語学演習Ⅱ	2	3		
				○ 日本語学講義Ⅰ	2	3		
				○ 日本語学講義Ⅱ	2	4		
国文学(国文学史を含む。)		20	○ 日本文学概論	2	1			
			○ 日本文学演習Ⅰ	2	2			
			○ 日本文学史Ⅰ	2	2			
			○ 日本文学演習Ⅱ	2	3			
			○ 日本文学史Ⅱ	2	3			
			○ 日本文学講義Ⅰ	2	3			
			○ 日本文学講義Ⅱ	2	3			
			○ 日本文学演習Ⅲ	2	4			
		○ 日本文学演習Ⅳ	2	4				
漢文学			○ 漢文学概論	2	1			
			漢文学講読	2	2			
			漢文学演習Ⅰ	2	3			
			漢文学演習Ⅱ	2	4			
書道(書写を中心とする。)			○ 書写Ⅰ	1	1	○印の科目を全て含み 2単位以上		
			○ 書写Ⅱ	1	2			
			書写・書道研究	2	3			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	4	教科教育法「国語」Ⅰ	2	2	8単位	
			教科教育法「国語」Ⅱ	2	3			
			教科教育法「国語」Ⅲ	2	4			
			教科教育法「国語」Ⅳ	2	4			
【合計】			28	24				

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の〔教科及び教科の指導法に関する科目〕と中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕を併せて61単位以上が必要です。

中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕の修得単位数によって、他専修免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっても、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「数学」・高等学校教諭一種免許状「数学」

施行規則に定める科目区分等					本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項				授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第二欄	中学校	高等学校	単位						
			中学	高校					
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	20	20	線形代数学Ⅰ	2	1	○印の科目を全て含み 20単位以上	28単位以上、 かつ、「教育の 基礎的理解に 関する科目 等」との合計が 61単位以上	
				線形代数学Ⅱ	2	1			
				○ 代数学概論	2	2			
				群論	2	3			
	代数学演習	2	3						
	ガロア理論	2	3						
	幾何学	20	20	○ 幾何学概論	2	1			
				変換幾何	2	2			
				初等幾何	2	3			
				幾何学演習	2	3			
解析学	20	20	微分積分学Ⅰ	2	1				
			微分積分学Ⅱ	2	1				
			○ 解析学概論	2	2				
			複素解析	2	3				
解析学演習	2	3							
微分方程式	2	3							
「確率論、統計学」	20	20	○ 確率統計	2	2				
			確率統計特論	2	3				
コンピュータ	20	20	○ コンピュータ	2	2				
			計算科学	2	3				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	教科教育法「数学」Ⅰ	2	1	8単位			
			教科教育法「数学」Ⅱ	2	2				
			教科教育法「数学」Ⅲ	2	3				
			教科教育法「数学」Ⅳ	2	3				
【合計】			28	24					

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の〔教科及び教科の指導法に関する科目〕と中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕を併せて59単位以上が必要です。

中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕の修得単位数によって、他専修免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっている場合、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「理科」・高等学校教諭一種免許状「理科」

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第二種	中学校	高等学校	単位 中学 高校					
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学			○ 物理学概論	2	1	○印の科目を全て含み 20単位以上	28単位以上、 かつ、「教育の 基礎的理解に 関する科目 等」との合計が 61単位以上
				物理学Ⅰ	2	2		
				物理学Ⅱ	2	3		
				○ 化学概論	2	1		
	化学			化学Ⅰ	2	2		
				化学Ⅱ	2	2		
				化学Ⅲ	2	3		
	生物学			○ 生物学概論	2	1		
				生物学Ⅰ	2	2		
	地学			○ 地学概論	2	2		
地学Ⅰ				2	1			
地学Ⅱ				2	1			
物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	「物理学実験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」		○ 物理学実験基礎	1	2			
			○ 物理学実験A	1	2			
			物理学実験B	1	2			
			○ 化学実験基礎	1	3			
			○ 化学実験A	1	3			
			化学実験B	1	3			
			○ 生物学実験基礎	1	2			
			○ 生物学実験A	1	2			
			生物学実験B	1	2			
			○ 地学実験基礎	1	3			
○ 地学実験A	1	3						
地学実験B	1	3						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			8	8	教科教育法「理科」Ⅰ 教科教育法「理科」Ⅱ 教科教育法「理科」Ⅲ 教科教育法「理科」Ⅳ	2 2 2 2	1 1 3 3	8単位
【合計】			28	28				

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の「教科及び教科の指導法に関する科目」と中高免の「教育の基礎的理解に関する科目等」を併せて59単位以上が必要です。

中高免の「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数によって、他専修免の「教育の基礎的理解に関する科目等」で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっても、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「音楽」・高等学校教諭一種免許状「音楽」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等										
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授 業 科 目	単 位	年 次	履 修 条 件	修 得 す べ き 単 位 数		
第二欄	中学校	高等学校	単 位							
			中学 高校							
教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	ソルフェージュ		○ ソルフェージュⅠ	1	1	○印の科目を全て含んで20単位以上	28単位以上、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が61単位以上		
				ソルフェージュⅡ	1	2				
		声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)		20 20		○ 声乐Ⅰ(日本の伝統的な歌唱を含む)			1	1
						声乐Ⅱ			1	1
						和楽器演習(三味線)			1	1
						○ 合唱Ⅰ			1	2
						声乐Ⅲ			1	2
						合唱Ⅱ			1	2
		器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		20 20		声乐Ⅳ			1	2
						声乐Ⅴ			1	3
						声乐Ⅵ			1	3
						○ ピアノⅠ			1	1
						○ アンサンブルスタディⅠ			1	2
ピアノⅡ	1					1				
指揮法		8 4		アンサンブルスタディⅡ	1	2				
				○ 和楽器演習(箏曲)	1	1				
				ピアノⅢ	1	2				
				○ ピアノⅣ(伴奏法を含む)	1	2				
				アンサンブルスタディⅢ	1	3				
				アンサンブルスタディⅣ	1	3				
音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。) 及び音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		8 4		ピアノⅤ	1	3				
				ピアノⅥ	1	3				
				○ 指揮法	1	3				
				○ 音楽理論	2	1				
				○ 作曲Ⅰ(編曲法を含む)	2	1				
				西洋音楽史	2	1				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8 4		○ 音楽史総合(日本の伝統・諸民族音楽を含む)	2	2				
				作曲Ⅱ	2	2				
				教科教育法「音楽」Ⅰ	2	1				
				教科教育法「音楽」Ⅱ	2	2				
【合計】		28 24		教科教育法「音楽」Ⅲ	2	3				
				教科教育法「音楽」Ⅳ	2	3				
				8単位						

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の〔教科及び教科の指導法に関する科目〕と中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕を併せて59単位以上が必要です。

中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕の修得単位数によって、他専修免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっているも、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「美術」・高等学校教諭一種免許状「美術」

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
	第二欄	中学校	高等学校					
中学				高校				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20	20	○ 絵画Ⅰ	1	1	○印の科目全てを含み 22単位以上	30単位以上、 かつ、「教育の 基礎的理解に 関する科目 等」との合計が 63単位以上
				素描	1	1		
				○ 絵画Ⅱ	1	2		
				○ 油彩画	1	2		
				○ 日本画	1	3		
				版画	1	3		
絵画表現	1	4						
総合造形	2	4						
彫刻	20	20	○ 彫刻Ⅰ	1	1			
			塑造	1	1			
			○ 彫刻Ⅱ	1	2			
			彫造	1	2			
デザイン (映像メディア表現を含む。)	20	20	○ デザインⅠ	1	1			
			デジタル表現	1	1			
			造形材料と加工	1	1			
			イラストレーション	1	2			
			○ デザインⅡ	1	2			
			ペーパーエンジニアリング	1	2			
○ メディアデザイン	1	3						
クラフトデザイン	1	3						
工芸	20	20	○ 工芸Ⅰ	1	1			
			陶芸	1	2			
			○ 工芸Ⅱ	1	2			
			工芸表現	1	3			
美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	20	20	○ 美術理論	2	1			
			美術文化論	2	3			
			色彩学	2	1			
			美術文化特別実習	1	3			
			○ 美術史	2	2			
			美術史演習	2	3			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	教科教育法「美術」Ⅰ	2	1	8単位		
			教科教育法「美術」Ⅱ	2	2			
			教科教育法「美術」Ⅲ	2	3			
			教科教育法「美術」Ⅳ	2	3			
【合計】			28	24				

注1) 他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2) 他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の「教科及び教科の指導法に関する科目」と中高免の「教育の基礎的理解に関する科目等」を併せて59単位以上が必要です。

中高免の「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数によって、他専修免の「教育の基礎的理解に関する科目等」で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3) 中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4) 開講年次が「1」となっているも、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「保健体育」・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
	中学校	高等学校	単位 中学 高校						
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20	20	○ 器械運動	1	2	○印の科目を全て含み 8単位以上	
					○ 陸上競技	1	1		
					○ 水泳	1	2		
					○ 表現運動・ダンスA	1	1		
					○ 武道	1	3		
					球技A	1	1		
					球技B	1	1		
					球技C	1	2		
					冬季スポーツ	1	2		
					表現運動・ダンスB	1	3		
球技D	1	3							
○ 球技	1	3							
○ 野外活動	1	3							
○ 体づくり運動	1	3							
					○ 体育原理	2	1	○印の科目を全て含み 12単位以上	28単位以上、 かつ、「教育の 基礎的理解に 関する科目 等」との合計が 61単位以上
					○ 体育運動学	2	1		
					体育心理学	2	2		
					体育史	2	3		
					体育社会学	2	3		
					体育学研究法	2	3		
					体育経営管理学	2	3		
					○ 運動生理学	2	2		
					運動生理学演習	2	3		
					○ 衛生学・公衆衛生学	2	1		
					○ 学校保健	2	3		
					ヘルスプロモーション	2	3		
			8	4	教科教育法「保健体育」I	2	1	8単位	
					教科教育法「保健体育」II	2	2		
					教科教育法「保健体育」III	2	3		
					教科教育法「保健体育」IV	2	4		
			【合計】	28	24				

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の〔教科及び教科の指導法に関する科目〕と中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕を併せて59単位以上が必要です。

中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕の修得単位数によって、他専修免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっていますが、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「家庭」・高等学校教諭一種免許状「家庭」

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
	第二欄	中学校	高等学校					
中学				高校				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)		○ 家庭経営学	2	1	○印の科目を全て含み 20単位以上	28単位以上、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が61単位以上
		被服学 (被服製作実習を含む。)		○ 家庭経済学	2	2		
				○ 基礎被服学実習	2	1		
				家族関係学	2	3		
				生活福祉論	2	3		
				被服学	2	3		
				基礎被服学実習	2	2		
		食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		生活環境論	2	3		
				被服学実験	1	3		
	衣生活論			2	4			
応用被服学実習	2			3				
住居学		○ 食物学	2	1				
		食品学	2	1				
		食生活論	2	4				
		○ 基礎調理実習	2	2				
		○ 栄養学	2	3				
保育学		応用調理実習	2	3				
		食物学実験	1	3				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○ 住居学(住居設計・製図を含む)	2	1	8単位			
		○ 保育学	2	3				
		教科教育法「家庭」Ⅰ	2	2				
		教科教育法「家庭」Ⅱ	2	3				
【合計】		教科教育法「家庭」Ⅲ	2	4				
		教科教育法「家庭」Ⅳ	2	4				
		28	24					

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の[教科及び教科の指導法に関する科目]と中高免の[教育の基礎的理解に関する科目等]を併せて59単位以上が必要です。

中高免の[教育の基礎的理解に関する科目等]の修得単位数によって、他専修免の[教育の基礎的理解に関する科目等]で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっても、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

【他専修免】中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
第二欄	中学校	高等学校	単位 中学 高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学			○ 英語学概論	2	2	○印の科目を全て含み 20単位以上	28単位以上、 かつ、「教育の 基礎的理解に 関する科目 等」との合計 が61単位以上	
				英語学演習Ⅰ	2	3			
				英語学演習Ⅱ	2	3			
	英語文学			○ 英語文学概論	2	2			
				英語文学演習Ⅰ	2	3			
				英語文学演習Ⅱ	2	3			
	英語コミュニケーション		20	20	○ Academic EnglishⅠ	2			1
					○ Academic EnglishⅡ	2			2
					Academic EnglishⅢ	2			3
					Academic EnglishⅣ	2			4
○ Grammar and Vocabulary					2	1			
○ Academic Writing					2	2			
English for Specific Purposes A					2	2			
English for Specific Purposes B					2	3			
○ Academic Reading A					2	1			
○ Academic Reading B					2	1			
異文化理解			○ 異文化理解概論	2	1				
			英米文化演習A	2	1				
			英米文化演習B	2	2				
各教科の指導法(情報通信技術 の活用を含む。)		8	4	教科教育法「英語」Ⅰ	2	2	8単位		
				教科教育法「英語」Ⅱ	2	3			
				教科教育法「英語」Ⅲ	2	3			
				教科教育法「英語」Ⅳ	2	3			
【合計】			28	24					

注1)他専修免は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得する必要があります。

注2)他専修免の取得には、中学校及び高等学校のそれぞれの免許要件において、上記他専修免の〔教科及び教科の指導法に関する科目〕と中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕を併せて59単位以上が必要です。

中高免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕の修得単位数によって、他専修免の〔教育の基礎的理解に関する科目等〕で修得すべき単位数が変わりますので注意してください。

注3)中学校教諭二種免許状を取得するためには、「網掛け」の科目の単位を全て修得する必要があります。

注4)開講年次が「1」となっているも、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

(学校教育課程)

【他専修免】特別支援学校教諭一種

(知的障害者に関する教育の領域)(肢体不自由者に関する教育の領域)(病弱者に関する教育の領域)

施行規則に定める科目区分等					本学における開講科目・単位					
特別支援教育に関する科目	担任可能領域	最低修得単位数		授業科目	単位	年次	修得すべき単位数			
		一種	二種							
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	全領域	2	2	障害児教育総論	2	1	28 単位以上		
					障害児教育の歴史	2	2			
					障害児教育思想史	2	2			
					小児保健学	2	2			
					障害児福祉学	2	3			
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	知的、肢体又は病弱	1	1	知的障害児の発達と心理	2	1	28 単位以上		
					知的障害児の生理・病理	2	1			
					肢体不自由児の心理・生理・病理	2	2			
					病弱児の心理・生理・病理	2	1			
					知的障害児の心理アセスメント	1	3			
		視覚又は聴覚	2	16	1	8	知的障害児の指導		2	1
							肢体不自由児の指導		2	3
							病弱児の指導		2	3
							障害児の個別指導計画		1	4
							開設なし			
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	全領域	5	3	発達障害・重複障害児教育総論	2	2	28 単位以上		
					視覚障害児教育総論	2	2			
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	全領域	3	3	障害児教育実地研究	2	4	28 単位以上		
					障害児教育実習(*履修できない。)	2	4			

注1:上記科目の修得にあたっては、特別支援教育専修の専門科目を履修してください。

注2:特別支援学校二種免許状を取得する場合は、「網かけ」のしてある科目を履修してください。

*本学で規定する修得すべき単位数は、在学中に「障害児教育実習」の単位修得ができないため、法令上第四欄に定められた単位を満たすことはできません。したがって、卒業時に特別支援学校教諭免許状の取得はできないことになります。

ただし、法令上第四欄に定める単位は、特別支援学校において、教員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するものについては、経験年数1年について1単位の割合で、それぞれ第1欄から第3欄までに掲げる科目に関する単位をもって、これに替えることができます。

注3)開講年次が「1」となっているも、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

発達教育課程

I. 取得できる教育職員免許状・資格

発達教育課程の卒業要件を満たしたうえで、「教育職員免許法施行規則」に定める指定科目及び「教育実践に関する科目」を修得すると、「教育職員免許状」(以下「免許状」という。)の取得に必要な要件を満たすことができます。自専修で取得できる免許を「自専修免」、他専修科目の必要な単位を修得することによって取得することができる免許状を「他専修免」と呼んでいます。また、指定された科目の単位を修得すると得られる資格があります。

1. 各専修で取得できる免許状・資格の種類

専修	免許状・資格の種類「自専修免」	「他専修免」
特別支援教育専修	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状	幼稚園教諭一種免許状
初等連携教育専修	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状	特別支援学校教諭一種免許状
児童心理教育専修	小学校教諭一種免許状 認定心理士	幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状
幼児心理教育専修	幼稚園教諭一種免許状 保育士	小学校教諭一種免許状

2. 免許状取得に必要な資格と単位

発達教育課程では、教育職員免許法で定められている「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」や保育士資格取得に必要な単位の殆どが卒業要件の中に「必修」となっています。

免許状は、これ以外に教育実習等の「教育実践に関する科目」の単位を修得すれば、取得のための必要単位を満たすことになります。

(1) 基礎資格と必要な単位数

所要資格 免許状の種類	基礎資格	法令における最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	16	21	14	
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2	
特別支援学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の普通免許状を有すること。				26

※ 「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注意1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「特別支援教育に関する科目」は、法令上の領域に分けられています。その領域の条件を満たすように科目(カリキュラム)が開設されています。

(注意2) 「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注意3) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験（4.「介護等体験」について 参照）

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 特別支援学校教諭免許状を取得する特別支援教育専修の学生
- ・ 保育士資格を取得する幼児心理教育専修の学生
- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設 年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体育科目	体育教育演習	②	1	2
		運動と健康 I	①	1	
		運動と健康 II	1	1	
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎	2	1	2

3. 教育実習について

教育実習は、免許状取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、幼稚園、小学校、特別支援学校に出向き、定められた期間、実習校の教師と同様に勤務し、観察、参加、実習を通し大学での修得した学問の研究の成果が、教育の現場で問われるものです。

その体験を通して、教師としての認識・自覚・態度を形成することによって教育者精神の把握、教育者としての使命感などを自覚し、後日、教師活動展開のための素地を育成することを意図しており、その意味で、教育実習は最後の総仕上げということになります。

(1) 教育実習の期間

所属専修	教育実習種別	実習期間	対応する科目
特別支援教育専修	小学校教育実習	20日間	幼小教育実習Ⅲ
	特別支援学校教育実習	10日間	障害児教育実習
初等連携教育専修	幼稚園教育実習	10日間	幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ※
	小学校教育実習	20日間	幼小教育実習Ⅲ
児童心理教育専修	小学校教育実習	20日間	幼小教育実習Ⅲ
幼児心理教育専修	幼稚園教育実習	10日間	幼小教育実習Ⅰ
		10日間	幼小教育実習Ⅱ

※ 初等連携教育専修の学生は「幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、専修の指定によりどちらかを履修すること。

(2) 教育実習の履修資格について

「幼小教育実習Ⅰ及びⅡ」、「幼小教育実習Ⅲ」及び「障害児教育実習」を履修する者は、「教育学部履修規程」に定められている次の条件を各々満たしていなければなりません。これらの条件に基づき、教育実習履修資格の最終判定が行われます。

【幼小教育実習Ⅰ及びⅡ】

① 修得した単位のうち、卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了まで合計 40 単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに合計 60 単位以上修得済みであること。

- ②履修すべき専門教育科目を指定された場合は、その科目の単位が修得済みであること。
- ③原則として、以下の単位修得条件を満たすこと。
 - ㉞ 前年度終了までに、「幼稚園教育実地研究」を修得済みであること。
 - ㉟ 前年度終了までに、「乳幼児心理学」「教職概論」「教育方法の理論と実践」「教育課程概論」「教育行財政(教育法規を含む)」のうち、4科目以上を修得済みであること。
 - ㊱ 前年度終了までに、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」のうち、「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現 A」「幼児と表現 B」から4科目以上を修得済みであること。
 - ㊲「課程基幹科目」の計10単位から8単位以上を修得済みであること。
- ④【共通事項】を満たすこと。

【幼小教育実習Ⅲ】

- ①当該年度に卒業の見込みがあること。
- ②修得した単位のうち、卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに合計70単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに合計90単位以上修得済みであること。
- ③履修すべき専門教育科目を指定された場合は、その科目の単位が修得済みであること。
- ④原則として、以下の単位修得条件を満たすこと。
 - ㉞ 前年度終了までに、「小学校教育実地研究」の単位を修得済みであること。
 - ㉟ 前年度終了までに、「教科概説『○○』」(計10単位)から8単位以上修得済みであること。
 - ㊱ 前年度終了までに、「○○科教育」(計20単位)から16単位以上修得済みであること。
 - ㊲「課程基幹科目」(計10単位)と、「専修必修科目」の「教職科目」(計16単位)の合計26単位から20単位以上修得済みであること。
- ⑤【共通事項】を満たすこと。

【障害児教育実習】

- ①当該年度に卒業の見込みがあること。
- ②修得した単位のうち、卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに合計70単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに合計90単位以上修得済みであること。
- ③前年度秋学期終了までに、特別支援教育専修の「専修基幹科目」(計26単位)から、20単位以上修得済みであること。
- ④【共通事項】を満たすこと。

【共通事項】

- ①原則として、以下の条件を満たすこと。
 - ㉞ 介護等体験及び教育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。(ただし、欠席の正当な理由が認められる場合は、代替課題などをもってこれに代えることがある。)
 - ㉟ 教育実習に必要な書類が全て提出されていること。
 - ㊱ 教育実習費を納入すること。
 - ㊲ 実習校・教育委員会等から課せられている条件を全て満たすこと。
- ②注意事項
 - ㉞ 生活態度、健康状態などを健全に保つことに心がけましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
 - ㉟ 病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(3) 教育実習校の配当・開拓について

幼稚園教育実習、小学校教育実習、特別支援学校教育実習は、大学が主に埼玉県・千葉県の一部及び東京都内の教育委員会と調整を図り、実習校を決定(配当)します。

※ 教育実習に関する詳細は、幼稚園については2年次の春学期、小学校及び特別支援学校については2年次の3月に行われる「教育実習開拓オリエンテーション」で説明します。

4. 「介護等体験」について

「介護等体験」とは、特別支援学校と生活訓練施設・老人ホーム等の社会福祉施設で障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を行うことです。

以下に概要を記しました。説明会や事前指導は必ず出席してください。欠席は認めません。さらに、ここには記載されていませんが、特別支援学校や社会福祉施設において行われるオリエンテーションがあります。体験の一環ですので必ず出席しなければなりません。申請説明会やオリエンテーションの日程等の連絡は、全て掲示やホームページでお知らせします。見落とさないよう注意してください。

なお、学生個人が、特別支援学校や社会福祉施設に直接体験の申し込みをすることは認められていません。大学が取りまとめて、教育委員会や社会福祉協議会へ申請をします。

※ 特別支援教育専修及び幼児心理教育専修の学生は、介護等体験は必要ありません。

学年	時期	「介護等体験」(体験日数)	
		特別支援学校(2日間)	社会福祉施設(5日間)
1年次	10～12月	説明会及び申請書提出 費用の納入(別掲載)	
2年次	4月	体験校の発表	
	5月～ 随時	本学教員による事前指導 体験実施及び体験証明書の授受	
	10～ 12月		説明会及び申請書提出
3年次	4月～ 随時		体験施設の発表(掲示) 本学教員による事前指導
	6月～ 随時		体験期間ごとの事前指導、資料配布 体験実施及び体験証明書の授受

5. 教職実践演習について

「教職実践演習」とは、教員免許状取得のための必修科目です。特別な仕組みにより履修する科目ですので、以下の注意事項をよく確認し履修してください。

● 「保育・教職実践演習(幼・小)」(4年次開設)について

「保育・教職実践演習(幼・小)」とは教員免許状及び保育士資格取得のための必修科目です。4年次において、教員免許状及び保育士資格取得に向けて大学での学習や経験を振り返り、教師・保育士として必要とされる資質を身に付けているか最終的に確認する目的で開設されます。

(1) 「保育・教職実践演習(幼・小)」の授業日程

週に1回、決まった曜日・時間に行われる通常の授業とは異なり、あらかじめ定められた日程に沿って授業を受講します。また、授業時間外に課される課題等を通しての学習も含まれます。

具体的な授業日程等については、4年次の4月以降に公表します。関係するオリエンテーションが開催されることもありますので、必ず出席してください。

(2) 「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修資格

教員免許状及び保育士資格取得にあたり、大学で学んだ内容の総まとめの位置付けとなりますので、4年次に「保育・教職実践演習(幼・小)」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。

- ① 当該年度に卒業の見込みがなければなりません。
- ② 入学時以降、「保育・教職実践演習(幼・小)」に関連したオリエンテーションに継続的に参加していなければなりません。
- ③ 入学時以降、指定された「学びのポートフォリオ」を全て記入・作成し、これに関して継続的な指導を受けていなければなりません。

- ④ 当該年度において「教育実習」及び「保育実習」を履修(又は前年度までに単位修得)していなければなりません。

II. 他専修免の取得について

他専修免は、所属専修によって履修条件(修得すべき単位数)が異なりますので注意してください。また、「他専修免」については、2年次から4年次の3年間に自分の所属する専修の卒業に必要な科目の時間割を組んだ後、空いた時間で取得に必要な指定科目を履修していくため、在学中に免許状取得に必要な科目の全てを履修することができない場合があります。したがって、他専修免履修に際し、二種免許状取得に必要な科目を優先して履修するようにしてください。

(履修上の注意)

- ① 他専修免の履修については、1年次の春学期に説明会を実施して詳しく説明します。
- ② 他専修免の履修については、指定された届出日までに申請のうえ、選考により履修が認められます。

III. 教職課程履修説明会及び登録手続について

1. 教職課程履修説明会

教育学部で、教職課程の履修を希望する者は、1年次秋に開かれる免許状取得のための説明会に必ず出席し、取得する免許状のパターン登録の手続をする必要があります(登録制)。

この登録を怠ると、各種免許状に関わる証明書の発行は受けられませんし、他専修免については、在学中に免許状を取得するために必要な科目を履修することはできません。

また、2年次以降になって新たな免許状取得のための履修を希望しても認められない場合があります。

2. 登録手続

説明会において登録手続き方法をお知らせします。所定の方法で、定められた日までに手続きを行ってください。

3. 教職課程の履修を中途放棄又は変更する場合

途中で教職課程の履修を断念又は変更する場合は、教務課にて「教職課程履修変更願」を受け取り、必要事項を記入したうえで、所属専修教務委員の承認を得て教務課に提出してください。

なお、他専修免登録者で4年生の履修登録後、規定単位数を修得できない場合は、必ず変更願を提出してください。変更願が提出されていない場合は、教育職員免許状取得見込証明書などの発行が受けられない場合があります。

IV. 免許状の取得に必要な費用について

教職課程を履修する場合の、免許状取得に必要な科目の課程履修費及び納入時期は、次のとおりです。納入方法等は説明会にて指示します。

専修	免許種類	課程履修費	介護等体験費用※1	教育実習費※2	納入時期
特別支援教育専修	自専修免(小免・特支免)	-	-	50,000円※3	※1:1年次の秋 ※2:実習を行う年度の11月~12月
初等連携教育専修	自専修免(幼免・小免)	-	15,000円	50,000円※3	
児童心理教育専修	自専修免(小免)	-	15,000円	30,000円※3	
幼児心理教育専修	自専修免(幼免)	-	-	30,000円※3	
課程共通	他専修免	20,000円	-	-	1年次の秋

※3 実習を行う学校等によって教育実習費は異なります。上記金額は最大金額です。

V. 「認定心理士」資格について(児童心理教育専修のみ)

心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した資格で、専修基幹科目の単位の全てと選択必修科目の「認定心理士科目」から指定された科目の単位を修得することにより、取得ができます。

詳細は、専修オリエンテーションの際にお伝えします。

VI. 「保育士資格」について(幼児心理教育専修のみ)

幼児心理教育専修は、保育士養成施設の指定を受けており、児童福祉法施行規則で定められている、保育士資格取得に必要な修業科目と単位が卒業要件に含まれています。

1. 保育士資格取得に必要な設置単位数

法令	告示による教科目	修得すべき単位数
児童福祉法施行規則第6条の2 第1項第3号及び平成30年厚生 労働省告示第216号	必修科目	51単位
	選択必修科目	9単位以上 * 保育実習2単位以上含む。
	教養科目	8単位以上

2. 告示に基づく開設科目

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6以上	文教大学への招待	講義	2		2
				宗教学	講義		2	2
				哲学	講義		2	2
				倫理学	講義		2	2
				文学	講義		2	2
				歴史学	講義		2	2
				論理学	講義		2	2
				音楽	講義		2	2
				美術	講義		2	2
				心理学	講義		2	2
				法律学	講義		2	2
				政治学	講義		2	2
				経済学	講義		2	2
				日本国憲法	講義	2		2
				社会学	講義		2	2
				文化人類学	講義		2	2
				地理学	講義		2	2
				教育学	講義		2	2
				科学思想史	講義		2	2
				数学	講義		2	2
				物理学	講義		2	2
				化学	講義		2	2
				宇宙地球科学	講義		2	2
				生態学	講義		2	2
				生物学	講義		2	2
				生理学	講義		2	2
				言語学	講義		2	2
				国際学	講義		2	2
				総合講座Ⅰ	講義		2	2
				総合講座Ⅱ	講義		2	2
				総合講座Ⅲ	講義		2	2
				総合講座Ⅳ	講義		2	2
総合講座Ⅴ	講義		2	2				
総合講座Ⅵ	講義		2	2				
総合講座Ⅶ	講義		2	2				
総合講座Ⅷ	講義		2	2				
総合講座Ⅸ	講義		2	2				
総合講座Ⅹ	講義		2	2				

教 養 科 目				基礎演習	演習	2		2
				教育課題演習	演習		2	2
				国際理解教育	講義		2	2
				生涯学習論(ボランティアを含む)	講義		2	2
				人権教育	講義		2	2
				鑑賞教育	講義		2	2
				語りの技法	講義		2	2
				海外教育研修	演習		1	1
				ピアノ基礎技能演習	演習		1	1
				海外教育実地研究	講義		2	2
				専門演習A	演習		2	2
				専門演習B	演習		2	2
				専門演習C	演習		2	2
				専門演習D	演習		2	2
				専門演習E	演習		2	2
				専門演習F	演習		2	2
				情報基礎	演習	2		2
				情報活用	演習		2	2
				情報A	演習		2	2
				情報B	演習		2	2
	情報C	演習		2	2			
	情報D	演習		2	2			
	情報E	演習		2	2			
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習	2		2
				英語Ⅱ	演習	2		2
				英語Ⅲ	演習		2	2
				英語Ⅳ	演習		2	2
				フランス語Ⅰ	演習		2	2
				フランス語Ⅱ	演習		2	2
				フランス語Ⅲ	演習		2	2
				フランス語Ⅳ	演習		2	2
				ドイツ語Ⅰ	演習		2	2
				ドイツ語Ⅱ	演習		2	2
				ドイツ語Ⅲ	演習		2	2
				ドイツ語Ⅳ	演習		2	2
				中国語Ⅰ	演習		2	2
				中国語Ⅱ	演習		2	2
				中国語Ⅲ	演習		2	2
				中国語Ⅳ	演習		2	2
				コリア語Ⅰ	演習		2	2
				コリア語Ⅱ	演習		2	2
コリア語Ⅲ				演習		2	2	
コリア語Ⅳ	演習		2	2				
体 育	講義 実技	1 1	運動と健康Ⅰ	実技	1		1	
			運動と健康Ⅱ	講義	1		1	
			スポーツ・レクリエーションⅠ	実技		1	1	
			スポーツ・レクリエーションⅡ	実技		1	1	
			スポーツと人間Ⅰ	実技		1	1	
			スポーツと人間Ⅱ	実技		1	1	

告示別表第1による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育に関する本質・目的に	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2
	社会福祉	講義	2	社会福祉概論	講義	2		2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2
	社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	講義	2		2
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2
理解の科目に 対象の	保育の心理学	講義	2	乳幼児心理学	講義	2		2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2		2
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		2
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	2		2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1		1
	保育内容演習	演習	5	保育内容「人間関係」の指導法	演習	2		2
				保育内容「言葉」の指導法	演習	2		2
				保育内容「表現」の指導法	演習	2		2
				保育内容「健康」の指導法	演習	2		2
				保育内容「環境」の指導法	演習	2		2
	保育内容の理解と方法	演習	4	幼児と表現A(音楽)	演習	1		1
				幼児と表現B(図画工作)	演習	1		1
				幼児と健康	演習	1		1
				幼児と人間関係	演習	1		1
				幼児と環境	演習	1		1
				幼児と言葉	演習	1		1
	乳児保育 I	講義	2	乳児保育 I	講義	2		2
乳児保育 II	演習	1	乳児保育 II	演習	2		2	
子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	2		2	
障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2	
社会的養護 II	演習	1	社会的養護 II	演習	2		2	
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1		1	
実保育	保育実習 I	実習	4	保育実習 I 施設実習	実習	2		2
				保育実習 I 保育所実習	実習	2		2
	保育実習指導 I	演習	2	保育実地研究 I	演習	2		2
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	2		2
合計		51単位						

告示別表第2による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
的保 に育 関の す本 る質 科・ 目目		不問	15以上	教育思想史	講義		2	2
				教育社会学	講義		2	2
				学校教育論	講義		2	2
				教職概論	講義		2	2
				特別支援教育概論	講義		2	2
				初等連携カリキュラム論	講義		2	2
解保 に育 関の す対 象科 の目 理	各指定保育士養成施設において設定	不問	15以上	教育心理学概論	講義	2		2
				発達と学習の心理学Ⅰ（パーソナリティと社会性）	講義		2	2
				学校心理学	講義		1	1
				社会心理学	講義		2	2
				発達と学習の心理学Ⅱ（認知発達）	講義		2	2
				家族心理学	講義		2	2
				臨床心理学	講義		2	2
				児童文化論	講義		2	2
				子育て支援ネットワーク論	講義		2	2
				教育課程概論	講義		2	2
				教育方法の理論と実践	講義		2	2
				カウンセリング	講義	2		2
				カウンセリング演習	演習	2		2
				発達援助論	講義	2		2
法保 に育 関の す内 容科 ・方 目方		不問	15以上	心理療法	講義		2	2
				対人関係論	講義		2	2
				教育メディア論	講義		2	2
				教科・教材論	講義		2	2
				教育と情報	演習		2	2
				保育実践研究	講義		2	2
				保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2		2
				保育実習Ⅱ保育所実習	実習		2	2
				保育実習Ⅲ施設実習	実習		2	2
				保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1		2
保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1		2				
保育実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2		2			
保育実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	演習	1		2			
合計		18単位以上						

3. 保育実習について

「保育実習Ⅰ・Ⅱ」は、3年次及び4年次において行われる資格取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、施設・保育所に出向き、定められた期間、実習施設の保育士と同様に勤務し、観察、参加、実習を通して大学で修得した学問研究の成果が、現場で問われるものです。

その体験を通じて、保育士としての認識・自覚・態度を形成することによって、専門的職業である保育士としての使命感などを自覚し、後日、保育士活動展開のための素地を育成することを意図しています。

(ア) 保育士実習の期間

保育士実習期間	対応する科目名	開設年次
居住型児童福祉施設等で12日間	保育実習Ⅰ施設実習	3
保育所で12日間	保育実習Ⅰ保育所実習	4
保育所で12日間	保育実習Ⅱ保育所実習	

(イ) 「保育実習」の履修資格

①3年次に「保育実習Ⅰ施設実習」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。

- ・ 修得した単位のうち卒業の要件に含めることのできる単位の合計が、前年度春学期終了までに40単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに 60 単位以上であること。
- ・ 前年度終了までに、「保育実地研究Ⅰ」を修得済みであること。
- ・ 前年度終了までに、「子どもの保健」「保育原理」「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」「保育の計画と評価」のうち、4科目以上を修得済みであること。
- ・ 「課程基幹科目」の 8 単位から 6 単位以上を修得済みであること。

②4年次で「保育実習Ⅰ保育所実習」及び「保育実習Ⅱ保育所実習」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。

- ・ 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ・ 修得した単位のうち卒業の要件に含めることのできる単位の合計が、前年度春学期終了までに 70 単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに 90 単位以上であること。
- ・ 前年度終了までに「保育実習Ⅰ施設実習」を修得済みであること。
- ・ 前年度終了までに、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」のうち、「保育内容『〇〇』の指導法」(計 10 単位)から 8 単位以上を修得済みであること。

③原則として、以下の条件を満たすこと。

- ⑦保育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。
- ⑧保育実習に必要な書類が全て提出されていること。
- ⑨保育実習費を納入すること。
- ⑩実習施設・自治体などから課せられている条件を全て満たすこと。

④注意事項

- ⑦生活態度、健康状態などを健全に保つことに心がけましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
- ⑧病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(ウ) 保育実習施設の配当について

保育所実習については、大学が居住地や埼玉県内等の保育所と調整を図り、実習を行う施設を決定(配当)します。

4. 資格の取得に必要な費用について

保育士資格取得に必要な科目の課程履修費・保育実習に係る諸費用及び納入時期は、次のとおりです。納入方法等は説明会にて指示します。

費用区分	納入金額	納入時期
保育実習Ⅰ施設実習	20,000円	実習を行う年度の11月～12月
保育実習Ⅰ・Ⅱ保育所実習	30,000円	実習を行う年度の11月～12月

VII. 学校図書館司書教諭課程

発達教育課程の小免登録者は、所定の手続を経て必要単位を修得した場合に、学校図書館司書教諭資格を得ることができます。詳細は、「学校図書館司書教諭課程について」をご確認ください。

VIII. 免許状取得に必要な科目と単位数

教育学部 発達教育課程

【自専修免】特別支援教育専修、初等連携教育専修、児童心理教育専修

【他専修免】幼児心理教育専修

小学校教諭一種免許状

小学校教諭免許状取得に必要な科目は、各専修(幼児心理教育専修を除く。)のカリキュラム表に全て含まれます。

このページ及び次ページの表は、各科目が法令にどのように規定されているか確認するためのものです。

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	単 位	年 次	履 修 条 件	修得すべき単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国 語 (書写を含む。)	1	1	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が62単位以上
			社 会	1	1		
			算 数	1	1		
			理 科	1	1		
			生 活	1	1		
			音 楽	1	1		
			図画工作	1	1		
			家 庭	1	1		
			体 育	1	1		
			外国語	1	1		
	各技術の活用を含む。 (情報通信)		国 語 (書写を含む。)	2	2	20単位	
			社 会	2	2		
			算 数	2	2		
			理 科	2	2		
			生 活	2	2		
			音 楽	2	2		
			図画工作	2	2		
			家 庭	2	2		
			体 育	2	2		
外国語	2	2					

発達教育課程 小学校教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	○ 教育原理	2	1	2単位以上	○ 印の科目を全て含み32単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が62単位以上
			教育思想史	2	2		
			○ 教職概論	2	1	2単位	
			○ 教育行財政(教育法規を含む)	2	2	2単位以上	
			学校教育論	2	1		
			教育社会学	2	2		
○ 教育心理学概論	2	1	2単位以上				
発達と学習の心理学Ⅰ(パーソナリティと社会性)	2	2					
学校心理学	2	2					
児童文化論	2	3					
○ 発達と学習の心理学Ⅱ(認知発達)	2	3	2単位				
○ 特別支援教育概論	2	1					
○ 教育課程概論	2	2	2単位以上				
初等連携カリキュラム論	2	2					
幼小接続教育内容論A	2	2					
幼小接続教育内容論B	2	2					
第四欄	道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導・教育相談等に関する科目	10	○ 道徳教育の理論と方法	2	2	2単位以上	
			○ 総合的な学習の時間の指導法	2	3	2単位	
			○ 特別活動(総合的な学習の時間の指導法を含む)	2	3	2単位	
			○ 教育方法の理論と実践	2	1	2単位以上	
			学習指導論	2	3		
			○ 教科・教材論	2	3	4単位以上	
			○ 教育におけるICT活用	2	1		
			○ 教育におけるICT活用	2	1		
○ 生徒指導・進路指導	2	2					
○ 教育相談の理論と方法	2	3	4単位以上				
対人関係論	2	3					
(生徒指導・進路指導)							
第五欄	教育実践に関する科目	5	○ 小学校教育実地研究	2	3	○ 印を含み、△から4単位以上、計6単位以上	
			△ 幼小教育実習Ⅰ	2	3		
			△ 幼小教育実習Ⅱ	2	3		
△ 幼小教育実習Ⅲ	4	4					
○ 保育・教職実践演習(幼・小)	2	4	2単位				
第六欄	大学が独自に設定する科目	2	生活科・総合的学習教育論	2	3		
			教育フィールド研究Ⅰ	1	2		
			教育フィールド研究Ⅱ	1	3		
			チーム援助論	2	3		
			学級づくり論	2	3		
			教育実践研究	2	3		
			器楽表現基礎Ⅰ	2	1		
			器楽表現基礎Ⅱ	2	2		
			器楽伴奏法Ⅰ	2	3		
			器楽伴奏法Ⅱ	2	3		
			造形表現演習	2	3		
			身体表現演習	2	3		

【合計】 29

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「発達教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

注2)所属専修によって開設科目が異なります。他専修で開設している科目は履修できないことがあります。

「発達教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

発達教育課程

【自専修免】初等連携教育専修、幼児心理教育専修

【他専修免】特別支援教育専修、児童心理教育専修

幼稚園教諭一種免許状

このページ及び次ページの表から指定された科目・単位を修得すること。

〔領域及び保育内容の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めること が必要な事項	単位	授 業 科 目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
領域 及び 保育 内容 の 指 導 法 に 関 する 科 目	領域に 関する 専門 的事 項	16	健康	1	1	6単位	16単位以上、かつ、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が51単位以上
			人間関係	1	1		
			環境	1	1		
			言葉	1	1		
			表現	1	2		
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	16	幼児と健康	1	1	6単位	
			幼児と人間関係	1	1		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材 の活用を含む。)	16	幼児と環境	1	1	10単位	
			幼児と言葉	1	1		
			幼児と表現A(音楽)	1	2		
			幼児と表現B(図画工作)	1	2		
			造形表現演習	2	3		
身体表現演習			2	3			
保育内容「健康」の指導法			2	3			
保育内容「人間関係」の指導法	2	3					
保育内容「環境」の指導法	2	3					
保育内容「言葉」の指導法	2	3					
保育内容「表現」の指導法	2	3					

発達教育課程

幼稚園教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	○ 教育原理 教育思想史	2	1	2単位以上	○印の科目全てを含み24単位以上、かつ、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」との合計が51単位以上	
			○ 教職概論	2	1			2単位
			○ 教育行財政(教育法規を含む) 学校教育論 教育社会学	2	2	2単位以上		
			○ 教育心理学概論 発達と学習の心理学Ⅰ(パーソナリティと社会性) 学校心理学 児童文化論 発達と学習の心理学Ⅱ(認知発達)	2	1			2単位以上
			○ 特別支援教育概論 障害児保育	2	1	2単位以上		
			○ 教育課程概論 初等連携カリキュラム論 幼小接続教育内容論A 幼小接続教育内容論B	2	2			
○ 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	1	2単位以上					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導等に関する科目	4		○ 教育方法の理論と実践 教科・教材論	2	3	2単位以上	
			○ 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	3	2単位以上		
			○ 教育相談の理論と方法(幼児理解を含む) 対人関係論	2	3			
第五欄	教育実践に関する科目	5	○ 幼稚園教育実地研究 △ 幼小教育実習Ⅰ △ 幼小教育実習Ⅱ △ 幼小教育実習Ⅲ	2	2	○印を含み、△から4単位以上、計6単位以上		
			△ 幼小教育実習Ⅰ △ 幼小教育実習Ⅱ △ 幼小教育実習Ⅲ	2	3			
		2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	14	生活科・総合的学習教育論	2	3			
			教育フィールド研究Ⅰ	1	2			
			教育フィールド研究Ⅱ	1	3			
			器楽表現基礎Ⅰ	2	1			
			器楽表現基礎Ⅱ	2	2			
			器楽伴奏法Ⅰ	2	3			
			器楽伴奏法Ⅱ	2	3			

【合計】 35

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「発達教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください

注2)所属専修によって開設科目が異なります。他専修で開設している科目は履修できないことがあります。

「発達教育課程 各専修カリキュラム」を確認してください。

発達教育課程

【自専修免】特別支援教育専修

特別支援学校教諭一種免許状

(知的障害者に関する教育の領域)(肢体不自由者に関する教育の領域)(病弱者に関する教育の領域)

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
特別支援教育に関する科目		担任可能領域	最低修得単位数	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数		
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目		全領域	2	障害児教育総論	必修	2	1	2単位以上		
					障害児教育の歴史	選択	2	2			
					障害児教育思想史	選択	2	2			
					小児保健学	選択	2	2			
					障害児福祉学	選択	2	3			
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的、肢体又は病弱	1 4 16	知的障害児の発達と心理	必修	2	1	10単位以上		
					知的障害児の生理・病理	必修	2	1			
					肢体不自由児の心理・生理・病理	必修	2	2			
					病弱児の心理・生理・病理	必修	2	1			
					知的障害児の心理アセスメント	選択	1	3			
	知的障害児の行動理解	必修	2	2							
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的、肢体又は病弱	2	16	知的障害児の指導	必修	2	1	6単位以上	
						肢体不自由児の指導	必修	2	3		
						病弱児の指導	必修	2	3		
						障害児の個別指導計画	選択	1	4		
開設なし											
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚又は聴覚	1 8	開設なし						
										心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	全領域	5	発達障害・重複障害児教育総論	必修	2	2	6単位		
					視覚障害児教育総論	必修	2	2			
					聴覚障害児教育総論	必修	2	3			
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	全領域	3	障害児教育実地研究	必修	2	4	4単位			
				障害児教育実習	選択	2	4				

※ 特別支援学校教諭の免許状を取得するためには、小学校教諭一種免許状の取得が必要です。

発達教育課程

【他専修免】初等連携教育専修、児童心理教育専修

特別支援学校教諭一種免許状

(知的障害者に関する教育の領域)(肢体不自由者に関する教育の領域)(病弱者に関する教育の領域)

施行規則に定める科目区分等					本学における開講科目・単位				
特別支援教育に関する科目	担任可能領域	最低修得単位数		授業科目	単位	年次	修得すべき単位数		
		一種	二種						
第一欄 特別支援教育の基礎理論に関する科目	全領域	2	2	障害児教育総論	2	1			
				障害児教育の歴史	2	2			
				障害児教育思想史	2	2			
				小児保健学	2	2			
				障害児福祉学	2	3			
第二欄 特別支援教育領域に関する科目	知的、肢体又は病弱	1	1	知的障害児の発達と心理	2	1	28 単位以上		
				知的障害児の生理・病理	2	1			
				肢体不自由児の心理・生理・病理	2	2			
				病弱児の心理・生理・病理	2	1			
				知的障害児の心理アセスメント	1	3			
				知的障害児の行動理解	2	2			
	視覚又は聴覚	2	16	1	知的障害児の指導	2		1	
					肢体不自由児の指導	2		3	
					病弱児の指導	2		3	
					障害児の個別指導計画	1		4	
					開設なし				
					開設なし				
第三欄 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	全領域	5	3	発達障害・重複障害児教育総論	2	2			
				視覚障害児教育総論	2	2			
第四欄 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	全領域	3	3	聴覚障害児教育総論	2	3			
				障害児教育実地研究	2	4			
				障害児教育実習(*履修できない。)	2	4			

注1: 上記科目の修得にあたっては、特別支援教育専修の専門科目を履修してください(「自専修」のコードで履修登録しないこと)。

注2: 特別支援学校二種免許状を取得する場合は、「網かけ」のしてある科目を履修してください。

* 本学で規定する修得すべき単位数は、在学中に「障害児教育実習」の単位修得ができないため、法令上第四欄に定められた単位を満たすことはできません。したがって、卒業時に特別支援学校教諭免許状の取得はできないことになります。

ただし、法令上第四欄に定める単位は、特別支援学校において、教員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するものについては、経験年数1年について1単位の割合で、それぞれ第1欄から第3欄までに掲げる科目に関する単位をもって、これに替えることができます。

注3) 開講年次が「1」となっている場合、他専修免登録者は2年次以降に履修可能となります。

人間科学部

I. 教職課程について

人間科学部には、将来教員を志望する者のために、教職課程が設けられています。

基礎資格を取得し、必要単位を修得した者は、教育職員免許法によって教育職員免許状(以下「免許状」という。)取得の資格を得ることができます。

1. 各学科で取得できる免許状と履修の条件

(1) 人間科学科

人間科学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「社会」 「公民」 「福祉」	学科で課程認定を受けている免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

人間科学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ㊧ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ㊨ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ㊧ 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(168 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ㊨ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ㊩ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

(2) 臨床心理学科

臨床心理学科に所属する学生が取得できる免許状は以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「社会」 「公民」	学科で課程認定を受けている免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「福祉」	人間科学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

臨床心理学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ㊧ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ㊨ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ㊧ 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(168 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ㊨ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ㊩ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

(3) 心理学科

心理学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕	「社会」	人間科学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「公民」 「福祉」	
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

心理学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ㊧ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ㊨ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㊦ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ㊧ 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(168 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ㊨ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ㊩ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の授与を受けるためには、「基礎資格」を有し、取得しようとする免許状の「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の法令で定められている単位数を取得しなければなりません。

免許状の種類 所要資格	基礎資格	法令における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	23	12
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2

※「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注)「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(2) 介護等体験（詳細は、166 ページ「6.介護等体験」についてを参照してください。）

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類になります。

ただし、以下のいずれかに該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 高等学校一種「福祉」を取得する学生
- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目（免許種別にかかわらず）

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設 年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体 育 科 目	体育教育演習	2	1	2
外 国 語 コミュニケーション	外国語科目	英 語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎	2	1	2
		情報活用	2	1	
		情報 A	2	1	
		情報 B	2	1	
		情報 C	2	1	
		情報 D	2	1	
情報 E	2	1			

〈人間科学科・心理学科の学生対象〉

(4) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目			履修条件	修得すべき 単位数		
	中学校	高等学校	単位数	人間科学科		単位			年次	
			中学	高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史				○ 日本史N ○ 東洋史N ○ 西洋史N	2 2 2	2 2 2	6単位	40単位以上
		地理学 (地誌を含む。)				○ 地理学N ○ 地誌学N	2 2	2 2	4単位	
		「法律学、政治学」	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	20	20	○ 法学Ⅰ(国際法を含む)N 法学Ⅱ(国際法を含む)N 行政学N 行政法N ○ 政治学Ⅰ(国際政治学を含む)N 政治学Ⅱ(国際政治学を含む)N 教育行政学N	2 2 2 2 2 2 2	2 2 3 3 3 3 3	○印の科目を 全て含み 8単位以上	
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	20	20	○ 社会学概論 ○ 経済学Ⅰ(国際経済学を含む)N 経済学Ⅱ(国際経済学を含む)N 現代社会論N 現代家族論N 労働と人間N 地域とグローバルコミュニティN 現代社会と階層N 日本文化論N	2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 3 1 3 3	○印の科目を 全て含み 10単位以上	
		「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	8	8	社会心理学N 実存的人間論N ○ 哲学N ○ 倫理学N	2 2 2 2	2 2 3 3	○印の科目を 全て含み 4単位以上	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8	4	○ 社会科・公民科教育法Ⅰ ○ 社会科・公民科教育法Ⅱ ○ 社会科・公民科教育法Ⅲ ○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2 2 2 2	3 3 3 3	8単位		

注1) 心理学科の学生は、人間科学科の科目を履修してください。

注2) 日本史N、西洋史N、東洋史N、地理学N、地誌学N、社会科・公民科教育法Ⅰ～Ⅳは、卒業要件の単位に含めることはできません。

〈人間科学科・心理学科の学生対象〉

(4) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目			履修条件	修得すべき 単位数	
		中学	高校	人間科学科	単位	年次			
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	* 教育学概論	2	1	2単位	○印の科目を含み 2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	2	2	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			○* 教育社会学N	2	2	○印の科目を含み 2単位以上	
					○* 現代学校教育論N	2	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			学級経営	2	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			* 教育心理学N	2	2	2単位	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			特別支援教育概論	2	2	2単位	
	教育課程論	1	2	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 3単位以上
		総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位	
		特別活動の指導法			特別活動	2	3	2単位	
		教育の方法及び技術			○ 教育方法の理論と実践	2	2	○印の科目を含み 3単位以上	
					* 教育評価N	2	2		
					教育方法・技術	2	3		
					教育工学	2	3		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○ 教育とICT活用	1	2		
生徒指導の理論及び方法	* 生徒指導・進路指導N	2	2	4単位					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	* 教育相談の理論と方法N	2	3						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導N」をもって充てる。)								
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	2	3	6単位	
					中学校教育実習	4	4		
		教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	2	4	2単位	

注1) *印は、人間科学部の専門教育科目です。卒業要件単位数に含むことができます。

注2) 学部専門教育科目については、人間科学科及び臨床心理学科の学生は自分の所属学科の科目を、心理学科の学生は人間科学科の科目をそれぞれ履修してください。

注3) 「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

〈人間科学科・心理学科の学生対象〉

(5) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目				履修条件	修得すべき 単位数	
	中学校	高等学校	単位数		人間科学科	単位	年次			
			中学	高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	中学校「社会」・高等学校「公民」	日本史・外国史	20	20	○ 日本史N	2	2	6単位	40単位以上
			地理学 (地誌を含む。)			○ 東洋史N	2	2		
			「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 西洋史N	2	2	○印の科目を全て含み8単位以上		
			「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	○ 地理学N	2	2			
					○ 地誌学N	2	2			
「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 法律学Ⅰ(国際法を含む)N	2	2	○印の科目を全て含み10単位以上					
○ 政治学Ⅰ(国際政治を含む)N	2	2	3	3						
						○ 政治学Ⅱ(国際政治を含む)N	2	2	3	
○ 教育行政学N	2	2	3	3						
					○ 社会学概論	2	1			
○ 経済学Ⅰ(国際経済学を含む)N	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
										○ 経済学Ⅱ(国際経済学を含む)N
○ 地域とグローバルコミュニティN	2	2	2	1	1	2	2	2	3	
										○ 現代家族論N
○ 現代社会論N	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
										○ 日本文化論N
○ 現代社会と階層N	2	2	2	2	3	2	2	2	3	
										○ 労働と人間N
○ 社会心理学N	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
										○ 実存的人間論N
○ 哲学N	2	2	2	2	3	2	2	2	3	
										○ 倫理学N
○ 倫理学N	2	2	2	2	3	2	2	2	3	
										○ 倫理学N
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8	4	4	4	3	2	3	3	3	
										○ 社会科・公民科教育法Ⅰ
○ 社会科・公民科教育法Ⅱ	2	2	2	2	3	2	3	2	3	
										○ 社会科・公民科教育法Ⅲ
○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2	2	2	2	3	2	3	2	3	
										○ 社会科・公民科教育法Ⅳ
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	高等学校「福祉」	社会福祉学(職業指導を含む。)	20	20	○ 人間生活の歴史と福祉	2	1	○印の科目を全て含み28単位以上	32単位以上
			○ 社会福祉学原論			2	2			
			○ 社会福祉援助技術			2	3			
			○ 社会福祉援助技術			2	3			
			○ 介護理論・介護技術			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
			○ 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)			2	2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	4	4	4	4	3	2	3	3	3	
										○ 福祉科教育法Ⅰ
○ 福祉科教育法Ⅱ	2	3								

注1) 福祉科教育法Ⅰ・Ⅱは、卒業要件の単位に含めることはできません。

注2) 「ソーシャルワーク専門実習Ⅰ」を履修するためには、前年度までに1年次・2年次に開講する次の4科目を履修していなければなりません。

①社会福祉学原論、②介護概論、③高齢者福祉論、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ、障害者福祉論、障害者福祉実践論のうち1科目、

④ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(①～④の科目に加え、1年次に開講する「社会福祉学概論」を履修することが望ましい。)

注3) 「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ」の2科目は、「ソーシャルワーク専門実習Ⅰ」と同年度に履修しなければなりません。

〈人間科学科・心理学科の学生対象〉

(5) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目			履修条件	修得すべき 単位数	
		中学	高校	人間科学科	単位	年次			
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	* 教育学概論	2	1	2単位	○印の科目を含み 2単位以上	
				教職概論	2	2	2単位		
				○* 教育社会学N	2	2	○印の科目を含み 2単位以上		
				○* 現代学校教育論N	2	2			
				学級経営	2	2			
				* 教育心理学N	2	2	2単位		○印の科目を含み 3単位以上
				特別支援教育概論	2	2	2単位		
教育課程論	1	2	1単位						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 3単位以上	
				総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位		
				特別活動の指導法	2	3	2単位		
				教育の方法及び技術	2	2	○印の科目を含み 3単位以上		
				* 教育評価N	2	2			
				教育方法・技術	2	3			
				教育工学	2	3	4単位		
				○ 教育とICT活用	1	2			
* 生徒指導・進路指導N	2	2							
* 教育相談の理論と方法N	2	3	4単位						
(「生徒指導・進路指導N」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	教育実地研究	2	3	6単位		
				中学校教育実習	4	4			
				教職実践演習	2	4		2単位	

注1) * 印は、人間科学部の専門教育科目です。卒業要件単位数に含むことができます。

注2) 学部専門教育科目については、人間科学科及び臨床心理学科の学生は自分の所属学科の科目を、心理学科の学生は人間科学科の科目をそれぞれ履修してください。

注3) 「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

〈臨床心理学科の学生対象〉

(6) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等					本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項				授業科目			履修条件	修得すべき 単位数
	中学校	高等学校	単位数		臨床心理学科	単位	年次		
教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目			中学	高校					
		日本史・外国史				○ 日本史R ○ 東洋史R ○ 西洋史R	2 2 2	2 2 2	6単位
		地理学 (地誌を含む。)				○ 地理学R ○ 地誌学R	2 2	2 2	4単位
		「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	20		○ 法学Ⅰ(国際法を含む)R 法学Ⅱ(国際法を含む)R 行政学R 行政法R ○ 政治学Ⅰ(国際政治学を含む)R 政治学Ⅱ(国際政治学を含む)R 教育行政学R ビジネスと法	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 3 3 3 3 3 3	○印の科目を 全て含み 8単位以上
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	20		○ 社会学概論※注5 ○ 経済学Ⅰ(国際経済学を含む)R 経済学Ⅱ(国際経済学を含む)R 現代社会学R 現代家族論R 労働と人間R 地域とグローバルコミュニティR 現代社会と階層R 日本文化論R	2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 1 2 2 3 3	○印の科目を 全て含み 10単位以上
	「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」			実存的人間論R ○ 哲学R ○ 倫理学R 発達心理学 感情・人格心理学 知覚・認知心理学	2 2 2 2 2 2	2 3 3 1 1 1	○印の科目を 全て含み 4単位以上	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	4	○ 社会科・公民科教育法Ⅰ ○ 社会科・公民科教育法Ⅱ ○ 社会科・公民科教育法Ⅲ ○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2 2 2 2	3 3 3 3	8単位	

注1)心理学科の学生は、人間科学科の科目を履修してください。

注2)日本史R、西洋史R、東洋史R、地理学R、地誌学R、社会科・公民科教育法Ⅰ～Ⅳは、卒業要件の単位に含めることはできません。

注3)ビジネスと法、発達心理学R、感情・人格心理学、知覚・認知心理学は、臨床心理学科の学生のみ対象の免許用科目となります。人間科学科及び心理学科の学生は、履修しても免許科目の単位とはなりません。

注4)心理学科で開設している発達心理学、人格心理学(感情・人格心理学Ⅰ)、感情心理学(感情・人格心理学Ⅱ)、認知心理学(知覚・認知心理学Ⅰ)、知覚心理学(知覚・認知心理学Ⅱ)を履修した場合も、免許用科目の単位とはなりません。

注5)「社会学概論」は高等学校教諭1種免許状「公民」には算定できません。

注6)「発達心理学」、「感情・人格心理学」、「知覚・認知心理学」は中学校教諭1種免許状「社会」には算定できません。

〈臨床心理学科の学生対象〉

(6) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目			履修条件	修得すべき 単位数	
		中学	高校	臨床心理学科	単位	年次			
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	* 教育学概論	2	1	2単位	○印の科目を含み 2単位以上
					教職概論	2	2	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			○* 教育社会学R	2	2		
					○* 現代学校教育論R	2	2		
					学級経営	2	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			* 教育心理学R	2	1	2単位	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	2	2	2単位	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	1	2	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 導、教育相談等に関する科目 指導法及び生徒指導	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 3単位以上
		総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位	
		特別活動の指導法			特別活動	2	3	2単位	
		教育の方法及び技術			○ 教育方法の理論と実践	2	2		
					* 教育評価R	2	2		
					教育方法・技術	2	3		
					教育学	2	3		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○ 教育とICT活用	1	2		
生徒指導の理論及び方法	* 生徒指導・進路指導R	2	2						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	* 教育相談の理論と方法R	2	3	4単位					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導R」をもって充てる。)								
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	2	3	6単位	
					中学校教育実習	4	4		
		教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	2	4	2単位	

31単位以上

注1) *印は、人間科学部の専門教育科目です。卒業要件単位数に含むことができます。

注2)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

〈臨床心理学科の学生対象〉

(7) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目				履修条件	修得すべき 単位数	
	中学校	高等学校	単位数		臨床心理学科	単位	年次			
			中学	高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門事項	中学校「社会」・高等学校「公民」	日本史・外国史	20	20	○ 日本史R	2	2	6単位	40単位以上
			地理学(地誌を含む。)			○ 地理学R	2	2		
			「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学Ⅰ(国際法を含む)R	2	2	○印の科目を全て含み8単位以上		
			○ 法学Ⅱ(国際法を含む)R	2	2					
			○ 行政学R	2	3					
○ 行政法R	2	3								
○ 政治学Ⅰ(国際政治学を含む)R	2	3	○印の科目を全て含み10単位以上							
○ 政治学Ⅱ(国際政治学を含む)R	2	3								
○ 教育行政学R	2	3								
○ ビジネスと法	2	3								
○ 社会学概論※注4	2	1	○印の科目を全て含み4単位以上							
○ 社会学Ⅰ(国際社会学を含む)R	2	2								
○ 社会学Ⅱ(国際社会学を含む)R	2	2								
○ 地域とグローバルコミュニティR	2	2								
○ 現代家族論R	2	2								
○ 現代社会論R	2	1								
○ 日本文化論R	2	3								
○ 現代社会と階層R	2	3								
○ 労働と人間R	2	3								
○ 実存的人間論R	2	2	○印の科目を全て含み8単位							
○ 哲学R	2	3								
○ 倫理学R	2	3								
○ 発達心理学	2	1								
○ 感情・人格心理学	2	1								
○ 知覚・認知心理学	2	1								
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8	4	○ 社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	8単位				
			○ 社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3					
			○ 社会科・公民科教育法Ⅲ	2	3					
			○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2	3					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門事項	高等学校「福祉」	社会福祉学(職業指導を含む。)	20	20	○ 人間生活の歴史と福祉	2	1	○印の科目を全て含み28単位以上	32単位以上
			○ 社会福祉学原論			2	2			
			○ 社会福祉学実践論Ⅰ			2	3			
			○ 社会福祉学実践論Ⅱ			2	3			
			○ 子ども家庭福祉論			2	1			
			○ 高齢者福祉論			2	2			
			○ 障害者福祉実践論			2	2			
			○ 子ども家庭福祉実践論			2	2			
			○ 社会福祉援助技術総論			2	2			
			○ ソーシャルワーク論			2	2			
○ コミュニティワーク論	2	3								
○ 介護概論	2	2	4単位							
○ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2								
○ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	3								
○ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	3								
○ ソーシャルワーク専門実習Ⅰ	2	3								
○ 医学概論	2	2	2							
○ 身体運動の理論と実際	2	2								
○ 障害者福祉論	2	2	2							
○ 福祉カウンセリング	2	3								
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	4	4	○ 福祉科教育法Ⅰ	2	3	4単位				
			○ 福祉科教育法Ⅱ	2	3					

注1)福祉科教育法Ⅰ・Ⅱは、卒業要件の単位に含めることはできません。

注2)「ソーシャルワーク専門実習Ⅰ」を履修するためには、前年度までに1年次・2年次に開講する次の4科目を履修していなければなりません。

①社会福祉学原論、②介護概論、③高齢者福祉論、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ、障害者福祉論、障害者福祉実践論のうち1科目、④ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(①～④の科目に加え、1年次に開講する「社会福祉学概論」を履修することが望ましい。)

注3)「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ」の2科目は、「ソーシャルワーク専門実習Ⅰ」と同年度に履修しなければなりません。

注4)「社会学概論」は高等学校教諭1種免許状「公民」には算定できません。

〈臨床心理学科の学生対象〉

(7) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目			履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校	臨床心理学科	単位	年次		
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	* 教育学概論	2	1	2単位	○印の科目を含み 2単位以上
				教職概論	2	2	2単位	
				○* 教育社会学R	2	2	○印の科目を含み 2単位以上	
				○* 現代学校教育論R	2	2		
				学級経営	2	2		
				* 教育心理学R	2	1	2単位	
				特別支援教育概論	2	2	2単位	
教育課程論	1	2	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 3単位以上
				総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位	
				特別活動の指導法	2	3	2単位	
				○ 教育方法の理論と実践	2	2	○印の科目を含み 3単位以上	
				* 教育評価R	2	2		
				教育方法・技術	2	3		
				教育工学	2	3		
				○ 教育とICT活用	1	2		
* 生徒指導・進路指導R	2	2	4単位					
* 教育相談の理論と方法R	2	3						
(「生徒指導・進路指導R」をもって充てる。)								
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	教育実地研究	2	3	6単位	
				中学校教育実習	4	4		
				教職実践演習	2	2	2単位	

注1) *印は、人間科学部の専門教育科目です。卒業要件単位数に含むことができます。

注2) 学部専門教育科目については、人間科学科及び臨床心理学科の学生は自分の所属学科の科目を、心理学科の学生は人間科学科の科目をそれぞれ履修してください。

注3) 「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

〈人間科学部 3学科共通〉

(8)小学校教諭一種免許状

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	教科に関する専門的事項	30	教科概説「国語」	小免用	1	2	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が59単位以上	
			教科概説「社会」	小免用	1	2			
			教科概説「算数」	小免用	1	2			
			教科概説「理科」	小免用	1	2			
			教科概説「生活」	小免用	1	2			
			教科概説「音楽」	小免用	1	2			
			教科概説「図画工作」	小免用	1	2			
			教科概説「家庭」	小免用	1	2			
			教科概説「体育」	小免用	1	2			
			教科概説「英語」	小免用	1	2			
	（情報通信技術の活用を含む。） 各教科の指導法	国語科教育 I	小免用	2	2	20単位			
		社会科教育 I	小免用	2	3				
		算数科教育 I	小免用	2	3				
		理科教育 I	小免用	2	3				
		生活科教育 I	小免用	2	3				
		音楽科教育 I	小免用	2	3				
		図画工作科教育 I	小免用	2	3				
		家庭科教育 I	小免用	2	2				
		体育科教育 I	小免用	2	3				
英語教育 I	小免用	2	3						

※この表の科目は、「小学校免許取得用」と指定されているクラスを履修してください。

〈人間科学部 3学科共通〉

(8)小学校教諭一種免許状

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	必修	2	2	2単位	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	必修	1	2	1単位	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
			特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術	教育方法論	必修	1	2	1単位	
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用	必修	2	2	2単位	
			生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	2単位	
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3	2単位	
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
第五欄	教育実践に関する科目	5	初等教育実地研究	必修	1	3	5単位	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
			初等教育実習	必修	4	4			
			教職実践演習	2	教職実践演習(小・中・高)	必修			2
第六欄	大学が独自に設定する科目	2	非開講						

文学部

I. 教職課程について

文学部には、将来教員を志望する者のために、教職課程が設けられています。

基礎資格を取得し、必要単位を修得した者は、教育職員免許法によって教育職員免許状(以下「免許状」という。)取得の資格を得ることができます。教職課程の履修を希望する場合は、1年次に開かれる説明会に必ず出席し、登録の手続をする必要があります(登録制)。

1. 各学科で取得できる免許状と履修の条件

(1) 日本語日本文学科

日本語日本文学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「国語」 「国語」 「書道」	学科で課程認定を受けている免許状
中学校教諭二種免許状 〔以下「中学校二種」〕	「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

日本語日本文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の5パターンです。

- ㉞ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」
- ㉟ 高等学校一種「書道」
- ㊱ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」
- ㊲ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・中学校二種「英語」
- ㊳ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㉟ 中学校二種「英語」および、小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(2)英米語英米文学科

英米語英米文学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「英語」 「英語」	学科で課程認定を受けている免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

英米語英米文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の2パターンです。

- ㊦ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」
- ㊧ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㊦ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㊧ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㊨ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(3)中国語中国文学科

中国語中国文学科に所属する学生が取得できる免許状は以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	「中国語」 「中国語」	学科で課程認定を受けている免許状
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「国語」 「国語」	日本語日本文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「書道」	
中学校教諭二種免許状	「国語」	
中学校教諭二種免許状 〔以下「中学校二種」〕	「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

中国語中国文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の6パターンです。

- ㉞ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」
- ㉟ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」
- ㊱ 高等学校一種「書道」
- ㊲ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」・中学校二種「国語」
- ㊳ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」・中学校二種「英語」
- ㊴ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」または中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㉟ 高等学校一種「書道」、中学校二種「国語」・「英語」および小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」または中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(4)外国語学科

外国語学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕	「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「英語」	

② 取得できる免許状の履修パターン

外国語学科で取得できる免許状は前述のとおりです。履修の方法としては次の1パターンのみです。

- ㉞ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の授与を受けるためには、「基礎資格」を有し、取得しようとする免許状の「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の法令で定められている単位数を修得しなければなりません。

所要資格	基礎資格	法令における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	18	12
中学校教諭二種免許状	短期大学士(※)の学位を有すること。	12	19	4
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2

※「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。
 (「短期大学士の学位」は、短期大学を卒業した者に授与されます。)

(注1) 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注2) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験(241 ページ「6.介護等体験」について参照)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規程	カリキュラム開設領域	科目名	単位	開設年次	修得すべき単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2単位
体育	体育科目	体育教育演習	2	1	2単位
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英語 I	②	1	1科目2単位 選択必修
		フランス語 I	②	1	
		ドイツ語 I	②	1	
		中国語 I	②	1	
		コリア語 I	②	1	
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎	2	1	1科目2単位 選択必修
		情報活用	2	1	
		情報 A	2	1	
		情報 B	2	1	
		情報 C	2	1	
		情報 D	2	1	
情報 E	2	1			

(4)中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
	中学校	高等学校	中学	高校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	国語学 (音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)		20	20	日本語学概論Ⅰ	必修	2	2	○印の科目を 全て含み合計 28単位以上修 得すること。	30単位以上
						日本語学概論Ⅱ	必修	2	2		
						日本語学演習Ⅰ－(1)	選必	2	2		
						日本語学演習Ⅰ－(2)	選必	2	2		
						日本語学講義Ⅱ－(1)	選必	2	3		
		日本語学講義Ⅱ－(2)	選必	2	3						
		○ 日本語史Ⅰ	選必	2	3						
		○ 日本語史Ⅱ	選必	2	3						
		日本文学講読Ⅰ－(1)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅰ－(2)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅱ－(1)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅱ－(2)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅲ－(1)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅲ－(2)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅳ－(1)	選必	2	2						
		日本文学講読Ⅳ－(2)	選必	2	2						
		○ 日本文学史Ⅰ－(1)	選必	2	2						
		日本文学史Ⅰ－(2)	選必	2	2						
		○ 日本文学史Ⅱ－(1)	選必	2	2						
		日本文学史Ⅱ－(2)	選必	2	2						
		漢文学概論	必修	2	2						
		漢文学講読Ⅰ	選必	2	2						
		漢文学講読Ⅱ	選必	2	2						
		○ 書道実技Ⅰ	選択	1	1	○印の科目を 全て含み2単位 以上修得する こと。					
		○ 書道実技Ⅱ	選択	1	1						
		書道Ⅰ－(1)	選択	2	2						
		書道Ⅰ－(2)	選択	2	2						
		書道Ⅱ－(1)	選択	2	3						
		書道Ⅱ－(2)	選択	2	3						
		書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	2						
		書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2	2						
		○ 国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位				
		○ 国語科教育法Ⅱ	自由	2	3						
		○ 国語科教育学Ⅰ	選必	2	2						
		○ 国語科教育学Ⅱ	選必	2	2						

注1)網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(4) 中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育工学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○ 教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談の理論と方法	自由	2	3		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(5)高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	高等学校	中学 高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20	20	○ 書道実技Ⅰ	選択	1	○印の科目を全て含み合計32単位以上修得すること。	32単位以上
				○ 書道実技Ⅱ	選択	1		
				○ 書道Ⅰ－(1)	選択	2		
				○ 書道Ⅰ－(2)	選択	2		
				○ 書道Ⅱ－(1)	選択	2		
				○ 書道Ⅱ－(2)	選択	2		
				○ 書道Ⅲ－(1)	選択	2		
				○ 書道Ⅲ－(2)	選択	2		
				○ 書道史Ⅰ	選択	2		
				○ 書道史Ⅱ	選択	2		
○ 書論・鑑賞	選択	2	3					
「国文学、漢文学」				漢文学概論	必修	2	○印の科目を全て含み4単位以上	○印の科目を全て含み4単位以上
				日本文学講読Ⅰ－(1)	選必	2		
				日本文学講読Ⅰ－(2)	選必	2		
				日本文学講読Ⅱ－(1)	選必	2		
				日本文学講読Ⅱ－(2)	選必	2		
				日本文学講読Ⅲ－(1)	選必	2		
				日本文学講読Ⅲ－(2)	選必	2		
				日本文学講読Ⅳ－(1)	選必	2		
				日本文学講読Ⅳ－(2)	選必	2		
				○ 日本文学史Ⅰ－(1)	選必	2		
○ 日本文学史Ⅰ－(2)	選必	2						
○ 日本文学史Ⅱ－(1)	選必	2						
○ 日本文学史Ⅱ－(2)	選必	2						
漢文学講読Ⅰ	選必	2						
漢文学講読Ⅱ	選必	2						
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		8	4	書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	○印の科目を全て含み4単位以上	○印の科目を全て含み4単位以上
				書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2		
				○ 書道科教育法Ⅰ	自由	2		
				○ 書道科教育法Ⅱ	自由	2		

注1)網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(5)高等学校教諭一種免許状「書道」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(6)中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	中学校	高等学校	中学	高校						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	20	20	○ 英語学Ⅰ	選必	2	2	各領域から○印の科目を全て含み合計30単位以上修得すること。	30単位以上
					英語学Ⅱ	選必	2	2		
					英語文法演習	必修	2	2		
					英語学演習Ⅰ	選必	2	2		
英語学演習Ⅱ	選必	2	2							
応用英語学Ⅱ	選必	2	2							
英語学特講Ⅰ	選必	2	3							
英語学特講Ⅱ	選必	2	3							
意味論	選必	2	3							
英文法論	選必	2	3							
音韻論	選必	2	3							
英語文学	○ 英語文学Ⅰ	選必	2	2						
	英語文学Ⅱ	選必	2	2						
	英語文学講読Ⅰ	選必	2	2						
	英語文学講読Ⅱ	選必	2	2						
	英語文学特殊研究Ⅰ	選必	2	3						
	英語文学特殊研究Ⅱ	選必	2	3						
	英語文学特講Ⅰ	選必	2	3						
	英語文学特講Ⅱ	選必	2	3						
英語文学特講Ⅲ	選必	2	3							
英語コミュニケーション	Communicative EnglishⅠ(E)	必修	2	1						
	Communicative EnglishⅡ(E)	必修	2	1						
	ReadingⅠ	必修	2	1						
	ReadingⅡ	必修	2	1						
	ReadingⅢ	必修	2	1						
	ReadingⅣ	必修	2	1						
	英語音声学	必修	2	1						
	Academic Writing	必修	2	2						
異文化理解	英米文化入門	選必	2	1						
	Overseas Study Preparation SeminarⅠ	選必	2	1						
	Overseas Study Preparation SeminarⅡ	選必	2	1						
	Overseas Study Preparation SeminarⅢ	選必	2	1						
	○ 英米文化Ⅰ(E)	選必	2	2						
	英米文化Ⅱ(E)	選必	2	2						
	英米文化演習Ⅰ	選必	2	2						
	英米文化演習Ⅱ	選必	2	2						
	英米文化特講Ⅰ(E)	選必	2	3						
	英米文化特講Ⅱ(E)	選必	2	3						
	英米文化特殊研究Ⅰ	選必	2	3						
	英米文化特殊研究Ⅱ	選必	2	3						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	英語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
			英語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
			英語教育学Ⅰ	選必	2	2				
			英語教育学Ⅱ	選必	2	2				

注1) 網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(6) 中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談の理論と方法	自由	2	3		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(7)日本語日本文学科・中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校	中学						
	英語学	10	○ 英語学Ⅰ	自由	2	2	各領域から○印の科目を全て含み合計12単位以上修得すること。	12単位以上
			英語学Ⅱ	自由	2	2		
			英語文法演習	自由	2	2		
			英語学演習Ⅰ	自由	2	2		
	英語学演習Ⅱ	自由	2	2				
英語文学		○ 英語文学Ⅰ	自由	2	2			
	英語文学Ⅱ	自由	2	2				
	英語文学講読Ⅰ	自由	2	2				
	英語文学講読Ⅱ	自由	2	2				
英語コミュニケーション		○ Communicative EnglishⅠ(E)	自由	2	2			
	Communicative EnglishⅡ(E)	自由	2	2				
	○ ReadingⅠ	自由	2	2				
	ReadingⅡ	自由	2	2				
	ReadingⅢ	自由	2	2				
	ReadingⅣ	自由	2	2				
	英語音声学	自由	2	2				
	○ Academic Writing	自由	2	2				
異文化理解		英米文化入門	自由	2	2			
	○ 英米文化Ⅰ(E)	自由	2	2				
	英米文化Ⅱ(E)	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅰ	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅱ	自由	2	2				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	○ 英語科教育法Ⅰ	自由	2	3	6単位	6単位	
	○ 英語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
	○ 英語教育学Ⅰ	選必	2	2				

※履修上の注意

「英語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

中学校二種免許状「英語」の履修について

中学校二種免許状「英語」の履修について、次のとおり内規が定められています。

1. 履修資格について

履修希望者が次のうちいずれかを満たしていること。

- TOEIC(TOEIC IPを含む)またはTOEIC Listening&Reading (TOEIC Listening&Reading IPを含む) 450点以上
- TOEFL iBT 35点以上
- 実用英語検定(英検)準2級以上
- 文教大学外国語科目「英語」1年次春学期の成績が「A」以上

2. 人数制限について

- ・中学校二種免許状「英語」の履修者は、10名以下とする。
- ・履修希望者が10名を超える場合には、選考を行う。

(7)日本語日本文学科・中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位 中学	授業科目	区分	単位	年次	履修条件		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	自由	2	2	2単位		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学	自由	2	2	2単位		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	自由	2	2	2単位		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	自由	1	2	1単位		
道徳、徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上	
	総合的な学習(探究)の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位		
	特別活動の指導法		特別活動	自由	2	3	2単位		
	教育の方法及び技術		教育工学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上		
			教育評価	自由	2	3			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○ 教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3			
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談の理論と方法	自由	2	3	4単位		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実地研究	自由	2	3	6単位		
			中学校教育実習	自由	4	4			
	教職実践演習	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位		

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(8)中学校教諭一種免許状「中国語」・高等学校教諭一種免許状「中国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
	中学校	高等学校	中学	高校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	中国語学		20	20	中国語文法・講読Ⅰ	必修	2	1	○印の科目を全て含み16単位以上修得すること。	36単位以上
		中国文学				○ 中国語学概説Ⅰ	選必	2	2		
		中国語コミュニケーション				中国語文法・講読Ⅱ	必修	2	1		
		異文化理解				中国語文法・講読Ⅲ	必修	2	2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	4	中国語文法・講読Ⅳ	必修	2	2	○印の科目を必ず修得すること。	8単位		
				○ 中国語学概説Ⅱ	選必	2	2				
				中国語学講義Ⅰ	選必	2	2				
				中国語学講義Ⅱ	選必	2	2				
				中国語学演習Ⅰ	選必	2	2				
				中国語学演習Ⅱ	選必	2	2				
				中国語学演習Ⅲ	選必	2	2				
				中国語学演習Ⅳ	選必	2	2				
				○ 中国現代文化論概説	選必	2	2				
				中国現代文化論講義Ⅰ	選必	2	2				
				中国現代文化論演習Ⅰ	選必	2	2				
				中国現代文化論演習Ⅱ	選必	2	2				
				○ 中国古典学概説Ⅰ	選必	2	2				
				○ 中国古典学概説Ⅱ	選必	2	2				
				中国古典学講義Ⅰ	選必	2	2				
				中国古典学講義Ⅱ	選必	2	2				
				中国古典学演習Ⅰ	選必	2	2				
				中国古典学演習Ⅱ	選必	2	2				
				中国古典学演習Ⅲ	選必	2	2				
				中国古典学演習Ⅳ	選必	2	2				
				中国語会話・作文Ⅰ	必修	2	1				
				中国語会話・作文Ⅱ	必修	2	1				
				中国語会話・作文Ⅲ	必修	2	2				
				中国語会話・作文Ⅳ	必修	2	2				
				○ 中国語演習Ⅰ(リーディング)	選必	2	2				
				○ 中国語演習Ⅱ(ライティング)	選必	2	2				
				中国語演習Ⅲ(検定初級支援Ⅰ)	選必	2	2				
				中国語演習Ⅳ(検定初級支援Ⅱ)	選必	2	2				
				中国語演習Ⅴ(検定中級支援Ⅰ)	選必	2	3				
				中国語演習Ⅵ(検定中級支援Ⅱ)	選必	2	3				
				中国歴史・地理基礎Ⅰ	必修	2	1				
				中国歴史・地理基礎Ⅱ	必修	2	1				
				○ 中国現代社会論概説	選必	2	2				
				中国現代社会論講義Ⅰ	選必	2	2				
				中国現代社会論演習Ⅰ	選必	2	2				
				中国現代社会論演習Ⅱ	選必	2	2				
				中国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
				中国語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
				中国語科教育学	選必	4	3				

注)網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(8)中学校教諭一種免許状「中国語」・高等学校教諭一種免許状「中国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(9)中国語中国文学科

中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
	中学校	高等学校	中学	高校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		20	20	○ 日本語学概論Ⅰ	自由	2	2	○印の科目を全て含み合計28単位以上修得すること。	30単位以上
		国文学 (国文学史を含む。)	○ 日本語学概論Ⅱ			自由	2	2			
			日本語学講義Ⅱ－(1)			自由	2	3			
			日本語学講義Ⅱ－(2)			自由	2	3			
			○ 日本語史Ⅰ			自由	2	3			
○ 日本語史Ⅱ	自由		2	3							
日本文学講読Ⅰ－(1)	自由		2	2							
日本文学講読Ⅰ－(2)	自由		2	2							
日本文学講読Ⅱ－(1)	自由		2	2							
日本文学講読Ⅱ－(2)	自由		2	2							
日本文学講読Ⅲ－(1)	自由		2	2							
日本文学講読Ⅲ－(2)	自由	2	2								
日本文学講読Ⅳ－(1)	自由	2	2								
日本文学講読Ⅳ－(2)	自由	2	2								
○ 日本文学史Ⅰ－(1)	自由	2	2								
日本文学史Ⅰ－(2)	自由	2	2								
○ 日本文学史Ⅱ－(1)	自由	2	2								
日本文学史Ⅱ－(2)	自由	2	2								
漢文学		漢文学	漢文学	○ 漢文学概論	自由	2	2				
				漢文学講読Ⅰ	自由	2	2				
				漢文学講読Ⅱ	自由	2	2				
書道 (書写を中心とする。)		書道	書道	○ 書道実技Ⅰ	自由	1	1	○印の科目を全て含み2単位以上修得すること。			
				○ 書道実技Ⅱ	自由	1	1				
				書道Ⅰ－(1)	自由	2	2				
				書道Ⅰ－(2)	自由	2	2				
				書道Ⅱ－(1)	自由	2	3				
				書道Ⅱ－(2)	自由	2	3				
				書写・書道教育研究Ⅰ	自由	2	2				
				書写・書道教育研究Ⅱ	自由	2	2				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	4	○ 国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
				○ 国語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
				○ 国語科教育学Ⅰ	選必	2	2				
				○ 国語科教育学Ⅱ	選必	2	2				

注1)「国語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

注2)開講年次が「1」となっている科目も、教職課程登録手続き後の2年次以降に履修可能となります。

(9)中国語中国文学科

中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育工学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				自由	2	3		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	自由	2	3						
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(10)中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校	中学	○ 日本語学概論Ⅰ ○ 日本語学概論Ⅱ 日本語学講義Ⅰ－(1) 日本語学講義Ⅰ－(2) 日本語学講義Ⅱ－(1) 日本語学講義Ⅱ－(2) 日本語史Ⅰ 日本語史Ⅱ	自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 3 3 3 3	○印の科目を全て含み合計18単位以上修得すること。	20単位以上
	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	10	○ 日本文学概論Ⅰ ○ 日本文学概論Ⅱ ○ 日本文学概論Ⅲ ○ 日本文学概論Ⅳ ○ 日本文学概論Ⅴ ○ 日本文学概論Ⅵ ○ 日本文学概論Ⅶ ○ 日本文学概論Ⅷ ○ 日本文学概論Ⅷ ○ 日本文学史Ⅰ－(1) ○ 日本文学史Ⅰ－(2) ○ 日本文学史Ⅱ－(1) ○ 日本文学史Ⅱ－(2)	自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由 自由	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
	国文学 (国文学史を含む。)	10	○ 漢文学概論 漢文学講読Ⅰ 漢文学講読Ⅱ	自由 自由 自由	2 2 2	2 2 2		
	漢文学	10	○ 書道実技Ⅰ ○ 書道実技Ⅱ	自由 自由	1 1	1 1		
	書道 (書写を中心とする。)	2	○ 国語科教育法Ⅰ ○ 国語科教育法Ⅱ	自由 自由	2 2	3 3	4単位	4単位
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2							

注1)「国語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

注2)開講年次が「1」となっても、教職課程登録手続き後の2年次以降に履修可能となります。

(10)中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「国語」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位 中学	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法		特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術		教育工学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
			教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○ 教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
			中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(11)中国語中国文学科

高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	高等学校	高校						
	書道 (書写を含む。)	20	○ 書道実技Ⅰ	自由	1	1	○印の科目を全て修得すること。	32単位以上
			○ 書道実技Ⅱ	自由	1	1		
			○ 書道Ⅰ－(1)	自由	2	2		
	○ 書道Ⅰ－(2)		自由	2	2			
	○ 書道Ⅱ－(1)		自由	2	3			
	○ 書道Ⅱ－(2)		自由	2	3			
	○ 書道Ⅲ－(1)		自由	2	4			
	○ 書道Ⅲ－(2)		自由	2	4			
	書道史		○ 書道史Ⅰ	自由	2	3		
○ 書道史Ⅱ	自由		2	3				
「書論、鑑賞」	○ 書論・鑑賞	自由	2	3				
「国文学、漢文学」	○ 漢文学概論	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅳ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅳ－(2)	自由	2	2				
	○ 日本文学史Ⅰ－(1)	自由	2	2				
	日本文学史Ⅰ－(2)	自由	2	2				
	○ 日本文学史Ⅱ－(1)	自由	2	2				
	日本文学史Ⅱ－(2)	自由	2	2				
漢文学講読Ⅰ	自由	2	2					
漢文学講読Ⅱ	自由	2	2					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	2	○印の科目を全て含み4単位以上	4単位以上	
書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2	2					
○ 書道科教育法Ⅰ	自由	2	3					
○ 書道科教育法Ⅱ	自由	2	3					

注1)「書道」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

注2)開講年次が「1」となっても、教職課程登録手続き後の2年次以降に履修可能となります。

(11)中国語中国文学科
 高等学校教諭一種免許状「書道」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○ 教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(12)外国語学科

中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
	中学校	高等学校	単位 中学 高校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学		○ 英語学 I 英語学 II 英語文法演習 英語学演習 I 英語学演習 II 応用英語学 II 英語学特講 I 英語学特講 II 意味論 英文法論 音韻論	自由	2	2	各領域から○印の科目を全て含み合計30単位以上修得すること。	30単位以上	
		英語文学		○ 英語文学 I 英語文学 II 英語文学講読 I 英語文学講読 II 英語文学特殊研究 I 英語文学特殊研究 II 英語文学特講 I 英語文学特講 II 英語文学特講 III	自由	2	2			
		英語コミュニケーション		○ Communicative English I (E) Communicative English II (E) ○ Reading I Reading II Reading III Reading IV 英語音声学 ○ Academic Writing	自由	2	1			
		異文化理解		英米文化入門 Overseas Study Preparation Seminar I Overseas Study Preparation Seminar II Overseas Study Preparation Seminar III ○ 英米文化 I (E) 英米文化 II (E) 英米文化演習 I 英米文化演習 II 英米文化特講 I (E) 英米文化特講 II (E) 英米文化特殊研究 I 英米文化特殊研究 II	自由	2	1			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			○ 英語科教育法 I ○ 英語科教育法 II ○ 英語教育学 I ○ 英語教育学 II	自由	2	3	8単位			8単位

注1) 網掛けの、英米語英米文学科が開講する「Communicative English I (E)」及び「英米文化 I (E)」を履修して修得した4単位は、

外国語学科専門教育科目の選択必修科目の単位として算定できます。

注2) 開講年次が「1」となっても、教職課程登録手続き後の2年次以降に履修可能となる科目があります。

中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修について

中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修について、次のとおり内規が定められています。

1. 履修資格について

履修希望者が次のうちいずれかを満たしていること。

- a. TOEIC (TOEIC IPを含む) または TOEIC Listening&Reading (TOEIC Listening&Reading IPを含む) 500点以上
- b. TOEFL iBT 45点以上
- c. 実用英語技能検定(英検) 2級以上

2. 人数制限について

- ・中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修者は、10名以下とする。
- ・履修希望者が10名を超える場合には、選考を行う。

(12)外国語学科

中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	30単位以上
	総合的な学習(探究)の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術			教育学	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育評価	自由	2	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			○ 教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	自由	2	3	4単位	
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習			2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4

注1)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

注2)「教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)」は、「教育方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の両方の内容を満たす科目です。

(13) 小学校教諭一種免許状

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	教科概説「国語」	小免用	1	2	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が59単位以上	
			社会	教科概説「社会」	小免用	1	2			
			算数	教科概説「算数」	小免用	1	2			
			理科	教科概説「理科」	小免用	1	2			
			生活	教科概説「生活」	小免用	1	2			
			音楽	教科概説「音楽」	小免用	1	2			
			図画工作	教科概説「図画工作」	小免用	1	2			
			家庭	教科概説「家庭」	小免用	1	2			
			体育	教科概説「体育」	小免用	1	2			
			外国語	教科概説「英語」	小免用	1	2			
	(情報通信技術の活用を含む。)			国語(書写を含む。)	国語科教育 I	小免用	2	2		20単位
				社会	社会科教育 I	小免用	2	3		
				算数	算数科教育 I	小免用	2	3		
				理科	理科教育 I	小免用	2	3		
				生活	生活科教育 I	小免用	2	3		
				音楽	音楽科教育 I	小免用	2	3		
				図画工作	図画工作科教育 I	小免用	2	3		
				家庭	家庭科教育 I	小免用	2	2		
				体育	体育科教育 I	小免用	2	3		
				外国語	英語教育 I	小免用	2	3		

(13)小学校教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	必修	2	2	2単位	29単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	必修	1	2	1単位	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位	
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
			特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術	教育方法論	必修	1	2	1単位	
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用	必修	2	1	2単位	
			生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	2単位	
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3	2単位	
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
第五欄	教育実践に関する科目	5	初等教育実地研究	必修	1	3	5単位		
			初等教育実習	必修	4	4			
			教職実践演習	教職実践演習(小・中・高)	必修	2	4		2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目	2					非開講		